



虹祭祀譚

花神の婿

R18

HANAGAMI
NO MUKO

柚子ゆう presented by
Liry Rain



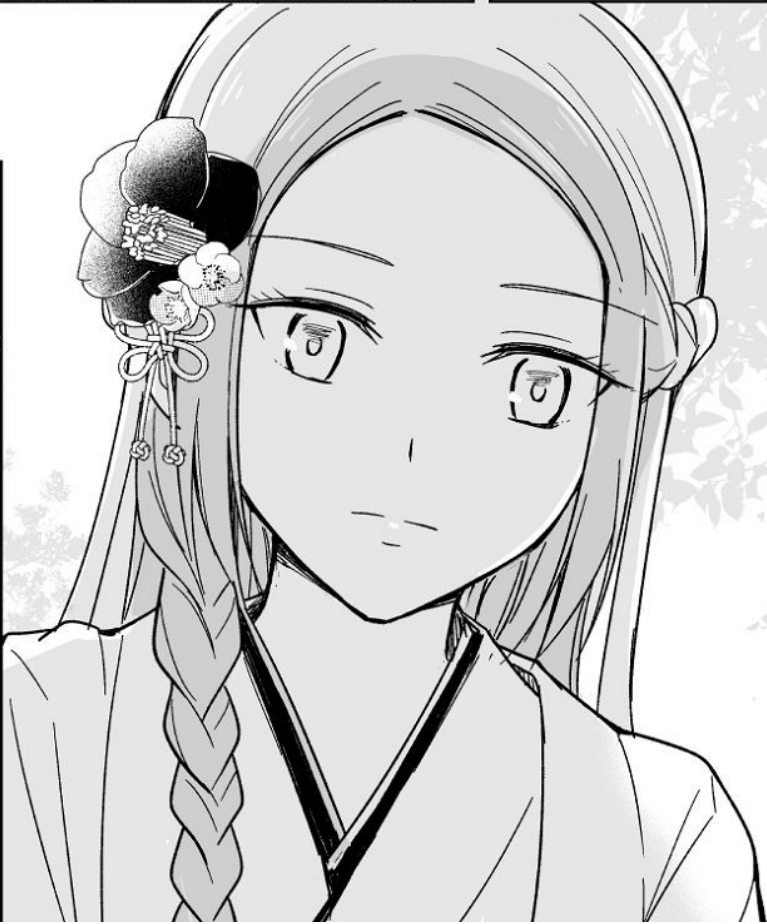
虹祭祀譚

花神申の婿

R18

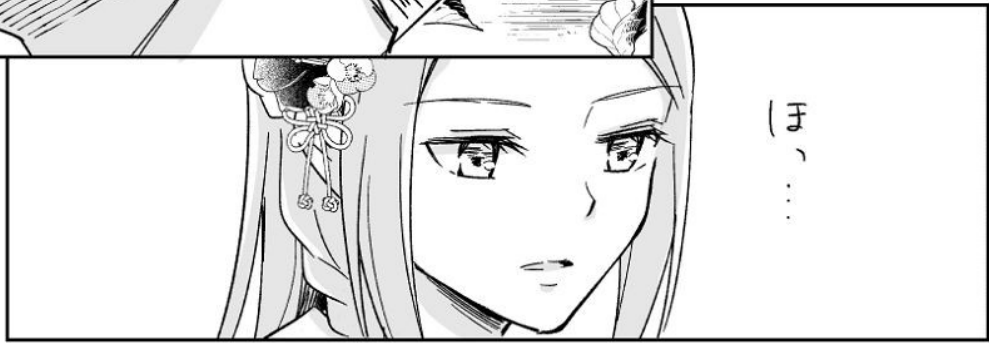
HANAGAMI
NO MUKO

袖りゆう presented by
Liry Rain





仕方ない

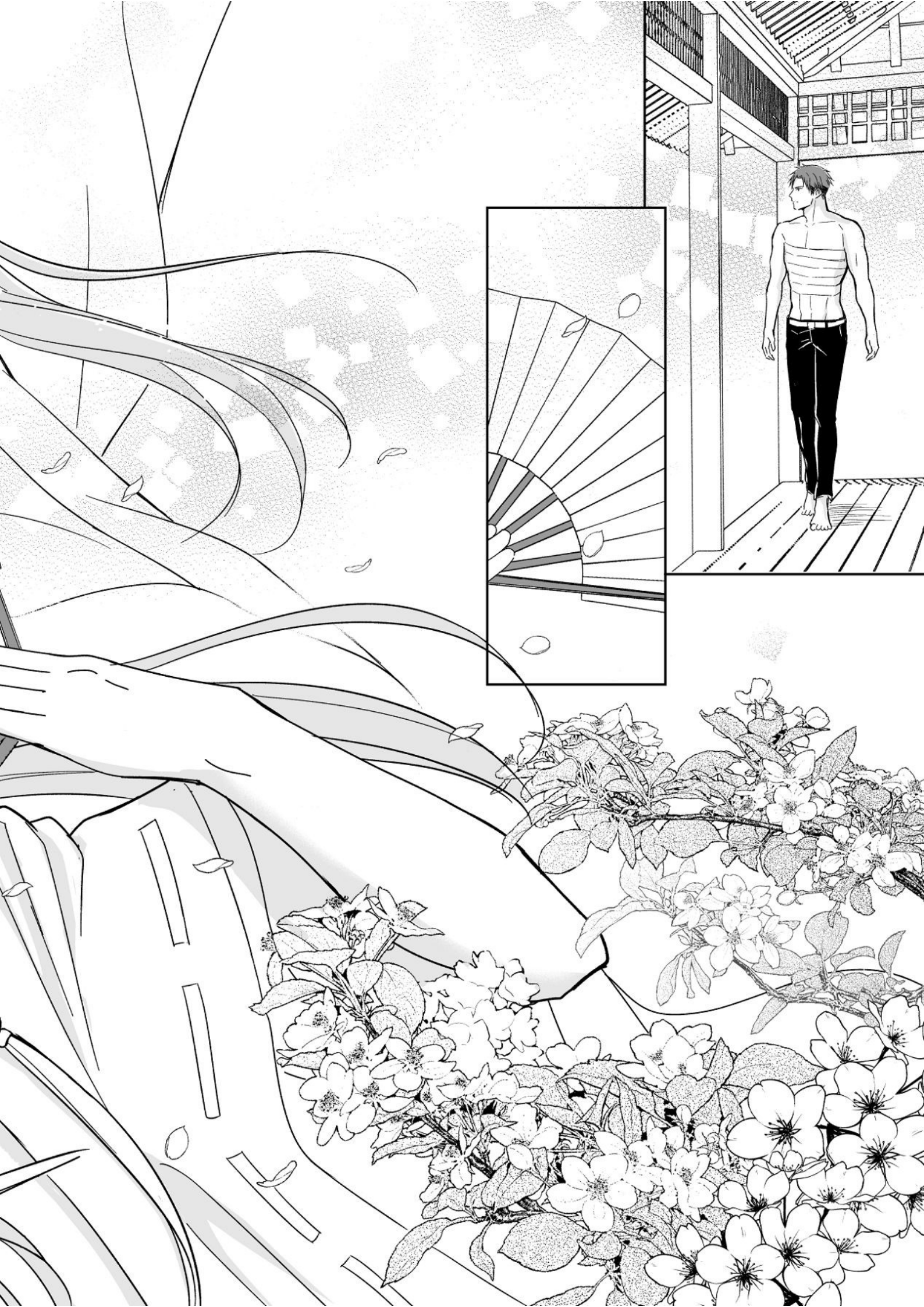


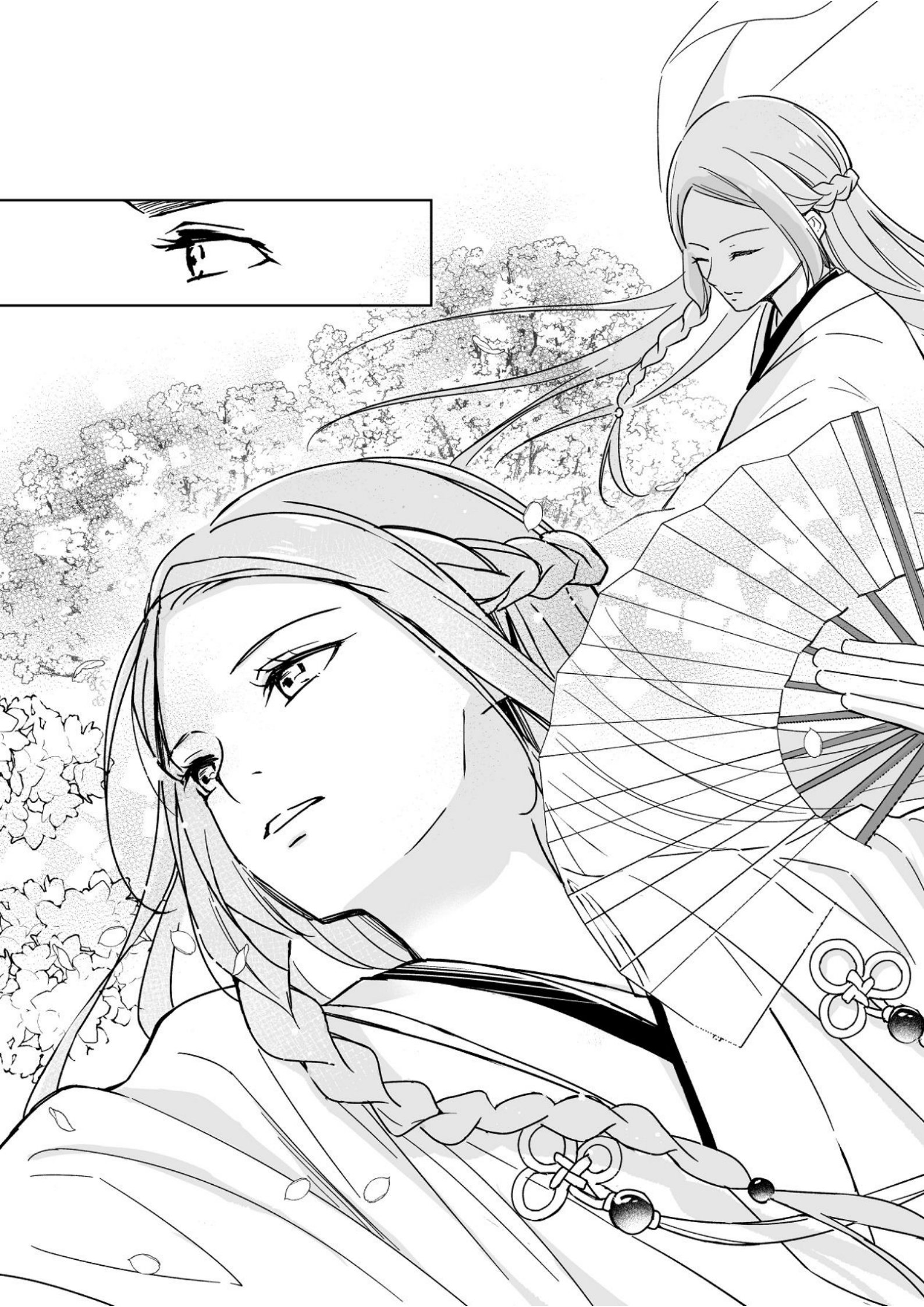
ほ、
…

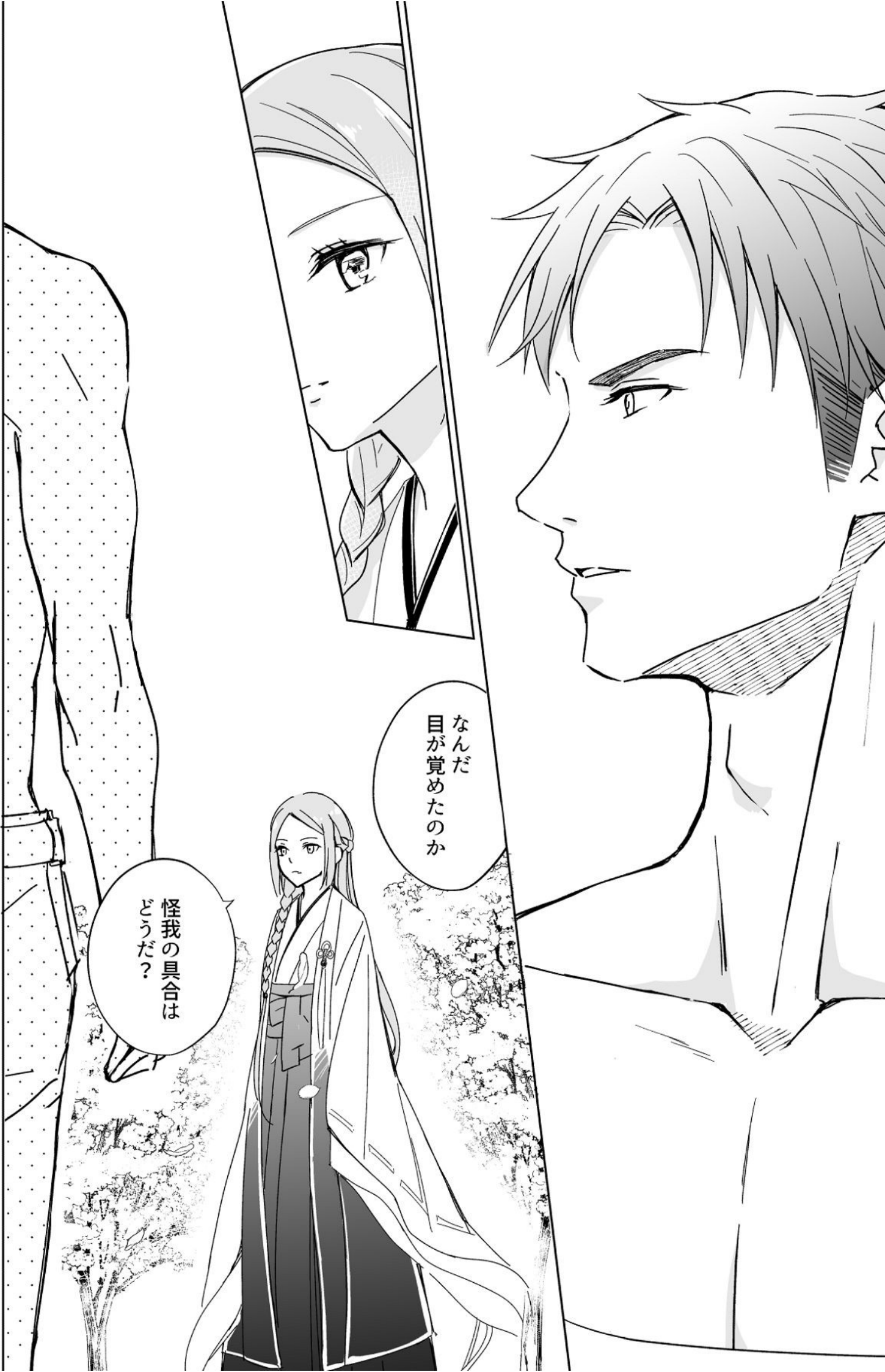






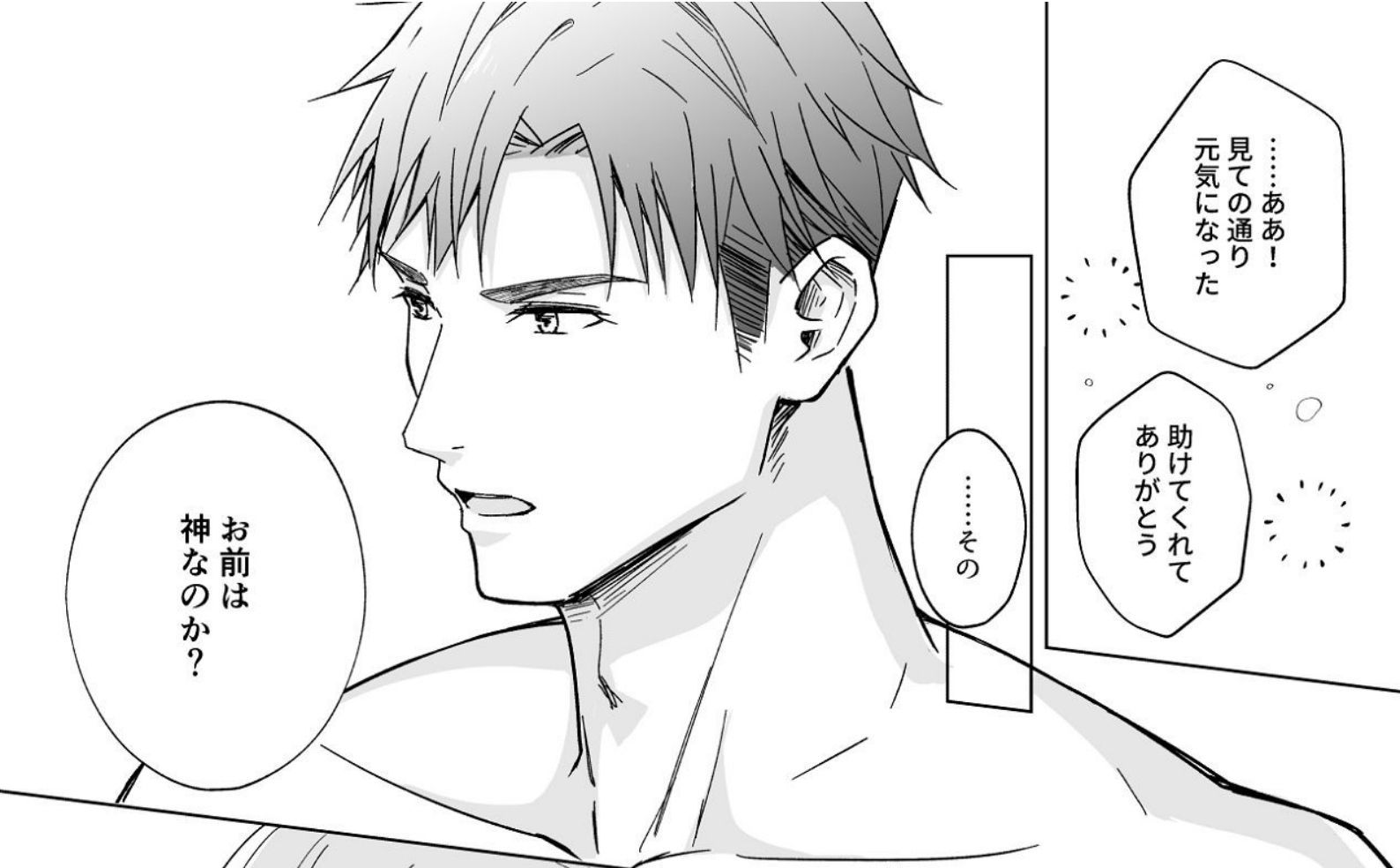






なんだ
目が覚めたのか

怪我の具合は
どうだ？

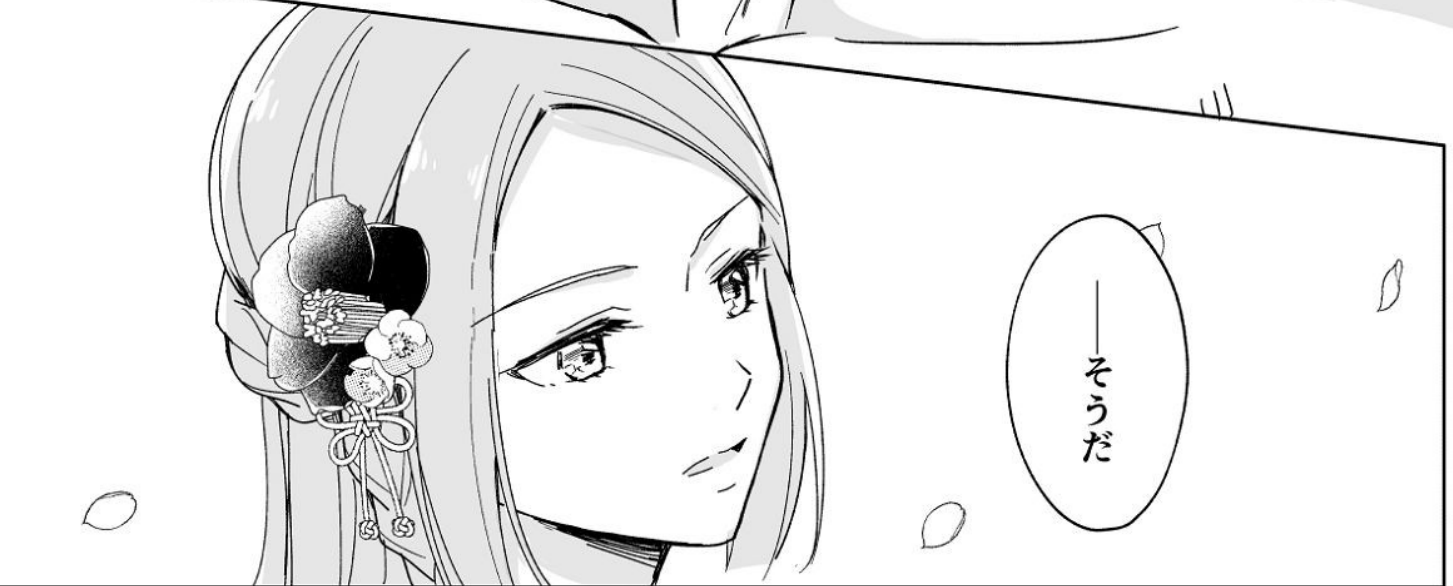


お前は
神なのか？

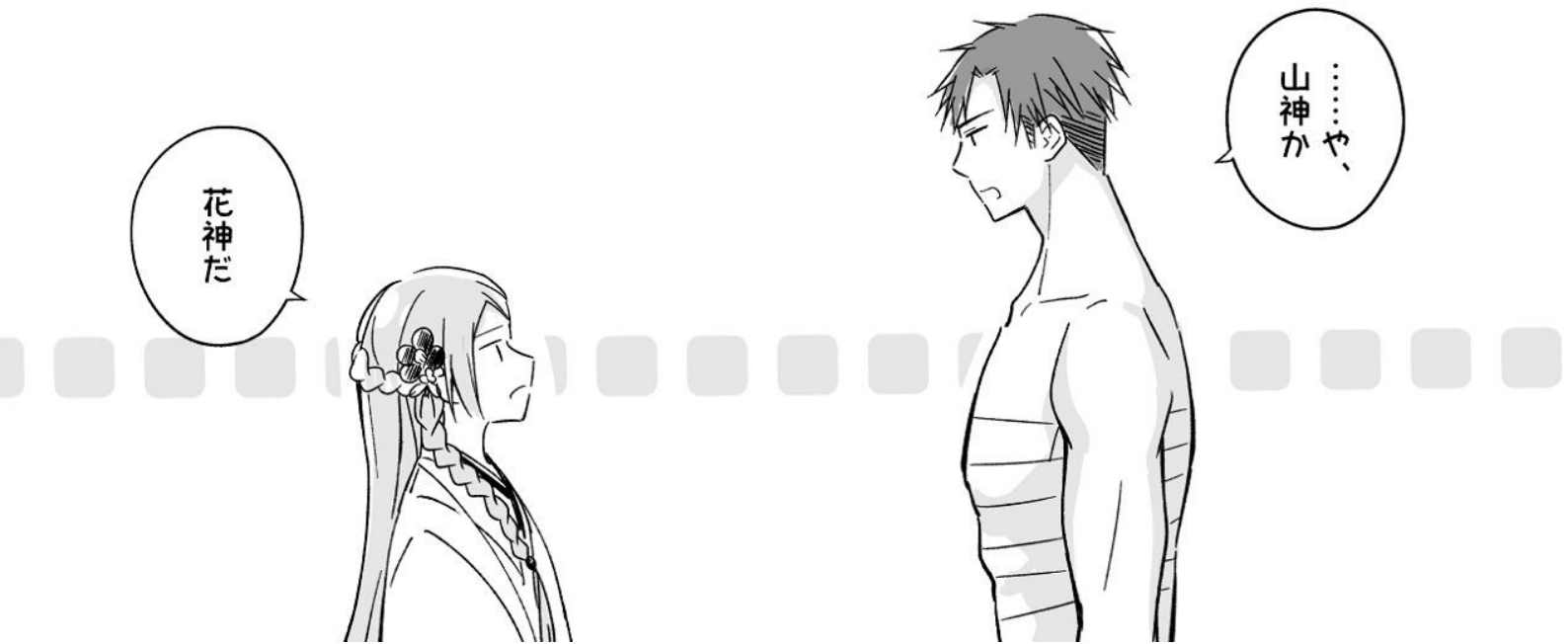
……その

……ああ！
見ての通り
元気になった

助けてくれて
ありがとう



——
そうだ



花神だ

……や、
山神か

怪我が
治ったなら
下界へ帰れ

それだけ
動けるなら
大丈夫だろう

恩返し
したい！

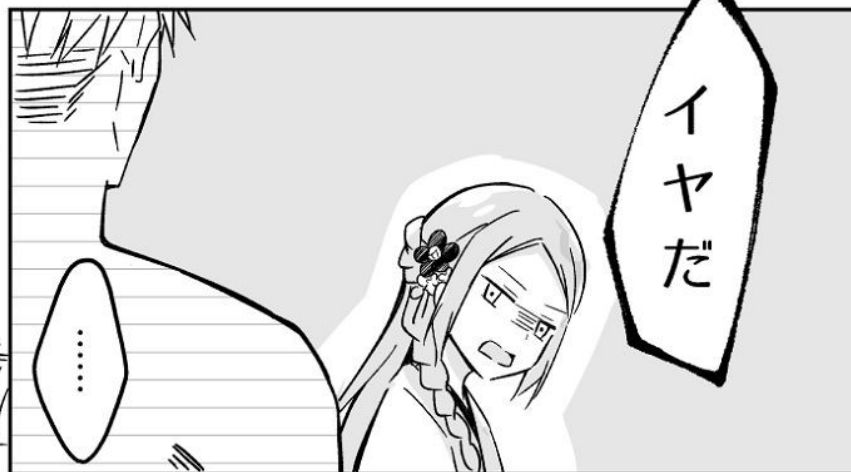
ここで働かせて
くれないかっ

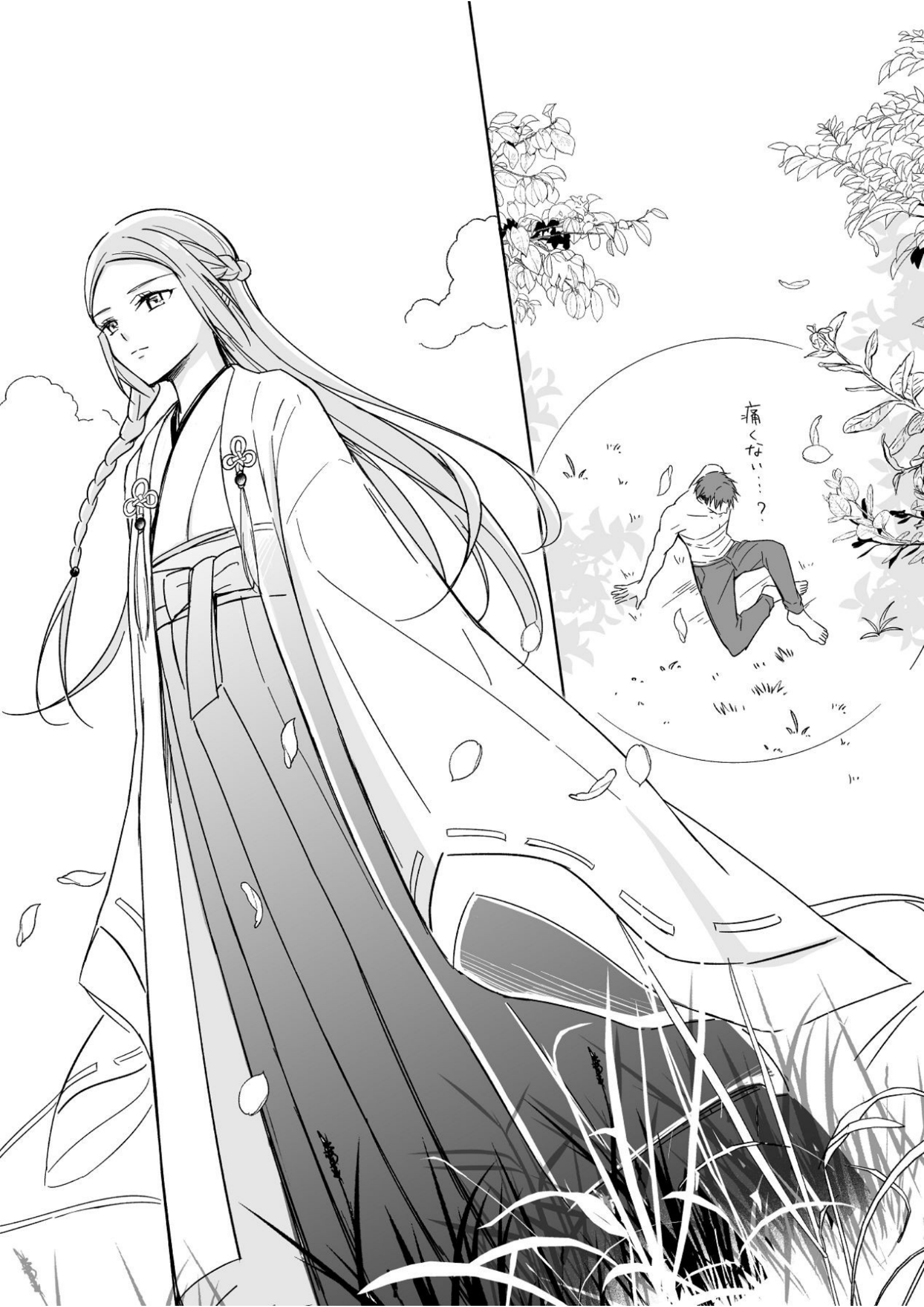
イヤだ

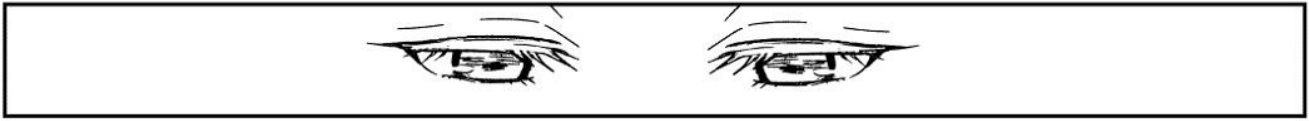
そこを
なんとかかっ!!

うるさい
さつさと
帰れ!

恩返しなど
いらん!







花神！
会いに来たぞ！



今日も
いい天気だな…
ですね！

普通に話せ

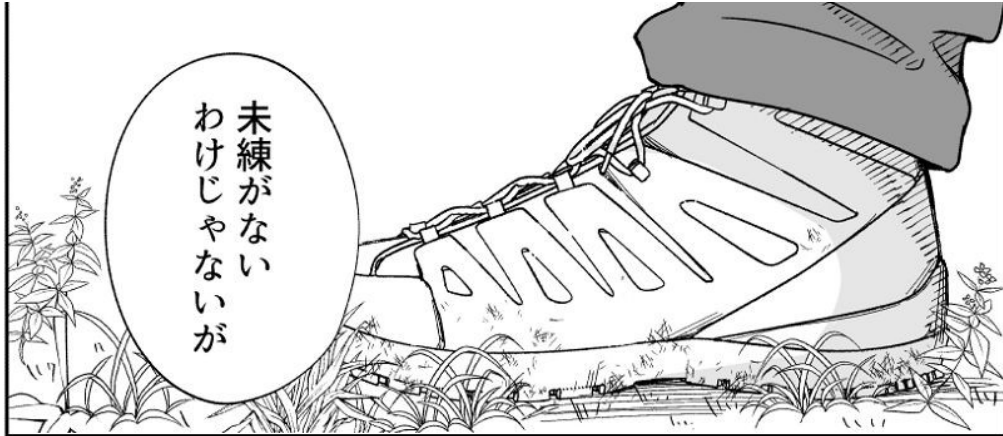
こいつ
なんでここに
辿り着けるんだ

友達も職場の
同僚くらいしか…

退職して
きたんだけどな

あ…親はもう
いないんだ

お前
家族や友は？



未練がない
わけじゃないが

お前、
人の世に
未練がないのか

違う!!



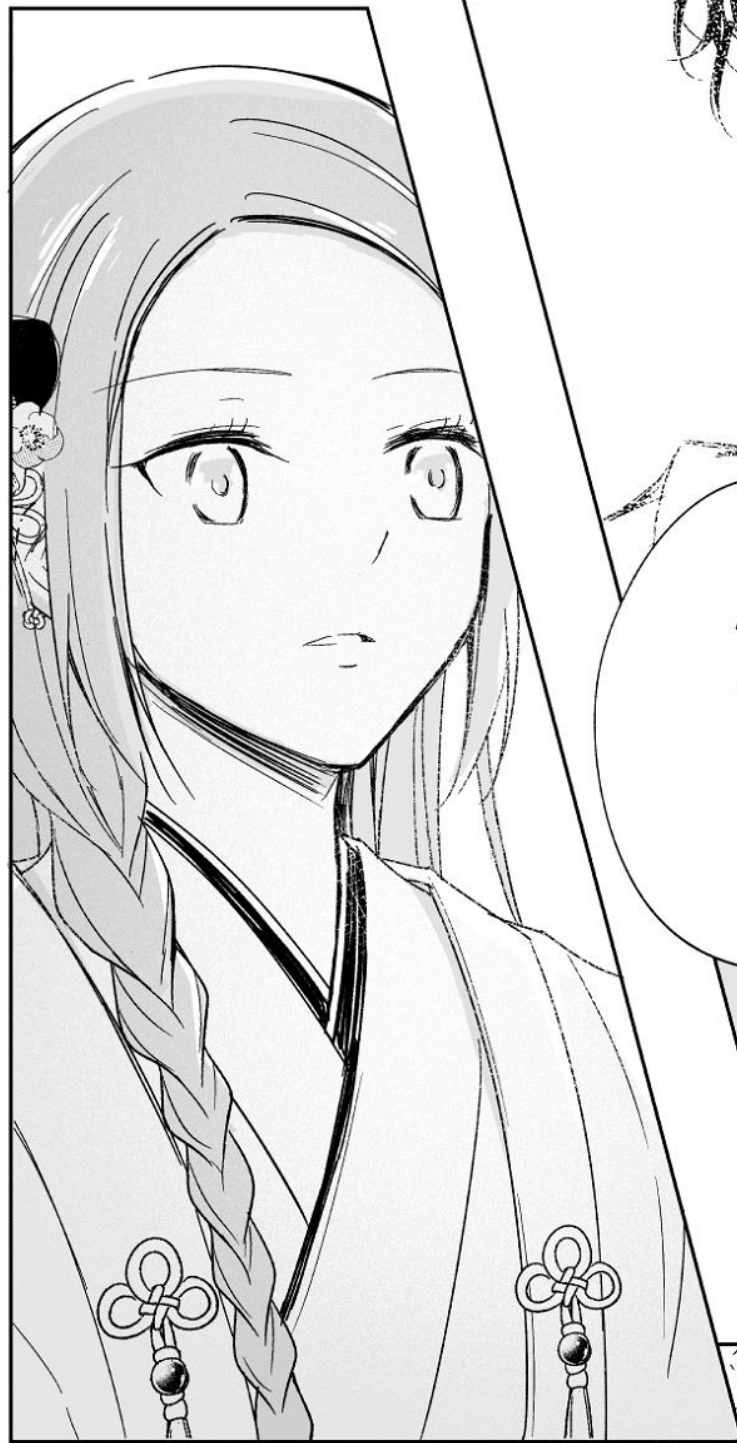
傍にいたくて
来た



っ

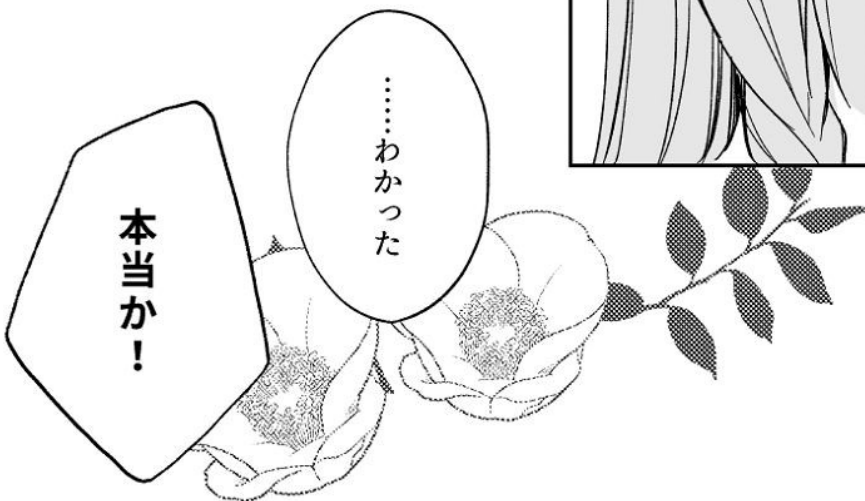
お前に
惚れた!!

十字
叩



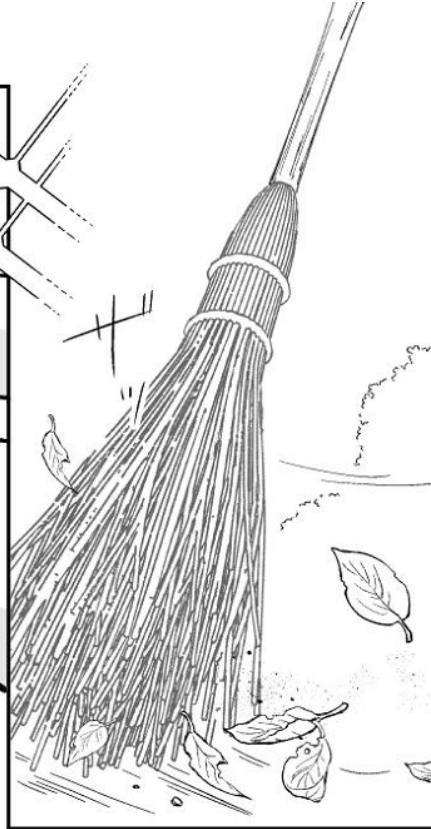
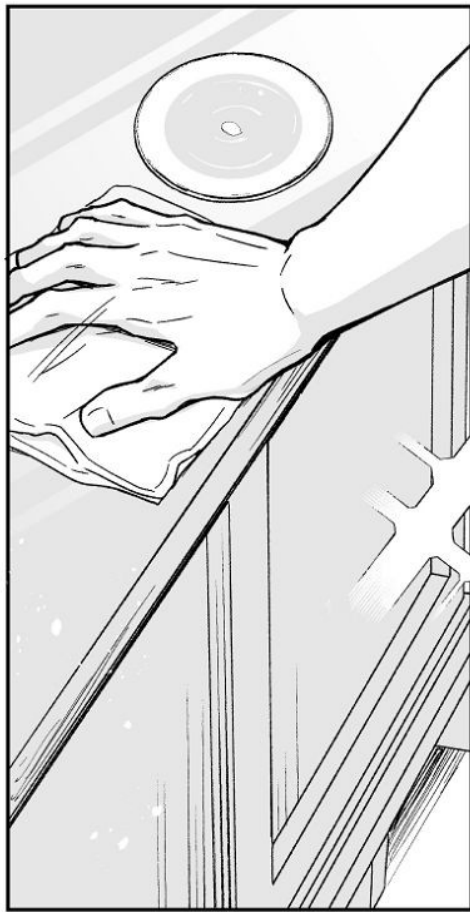
花
神
殿

一
目
で
惚
れ
申
し
た



…
わ
か
っ
た

本
当
か
!



掃除が一番
大事だぞ

掃除だけで
いいのか？



花神
玄関の掃除
終わったぞ！

お疲れ



神域が汚れると
力が落ちる



お前が来てから
空気が
澄んでいるな

それは
良かった

そういや、
花神は名前は
あるのか？

…小梅だ



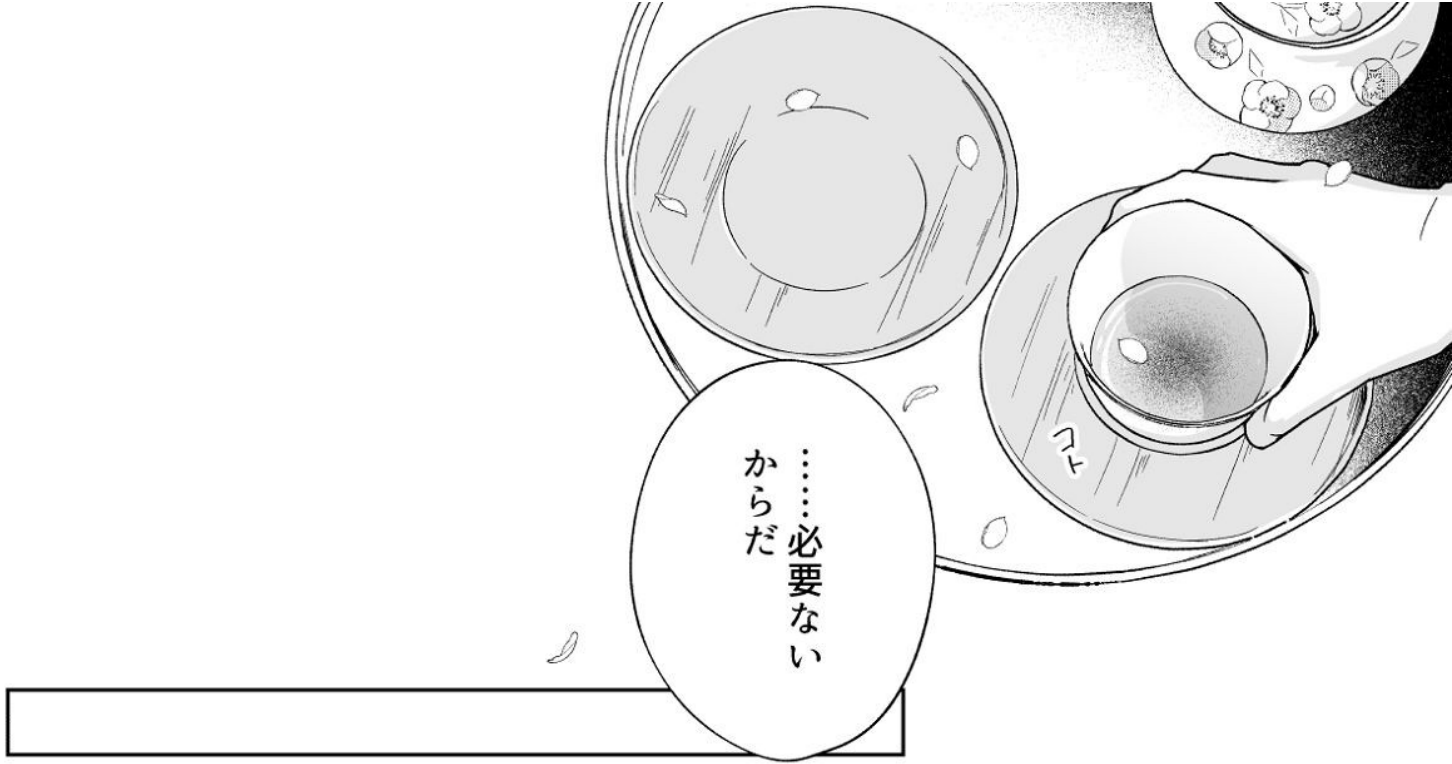
なんで今まで
一人だったんだ？

神様って…こう
眷属とか
いないのか？

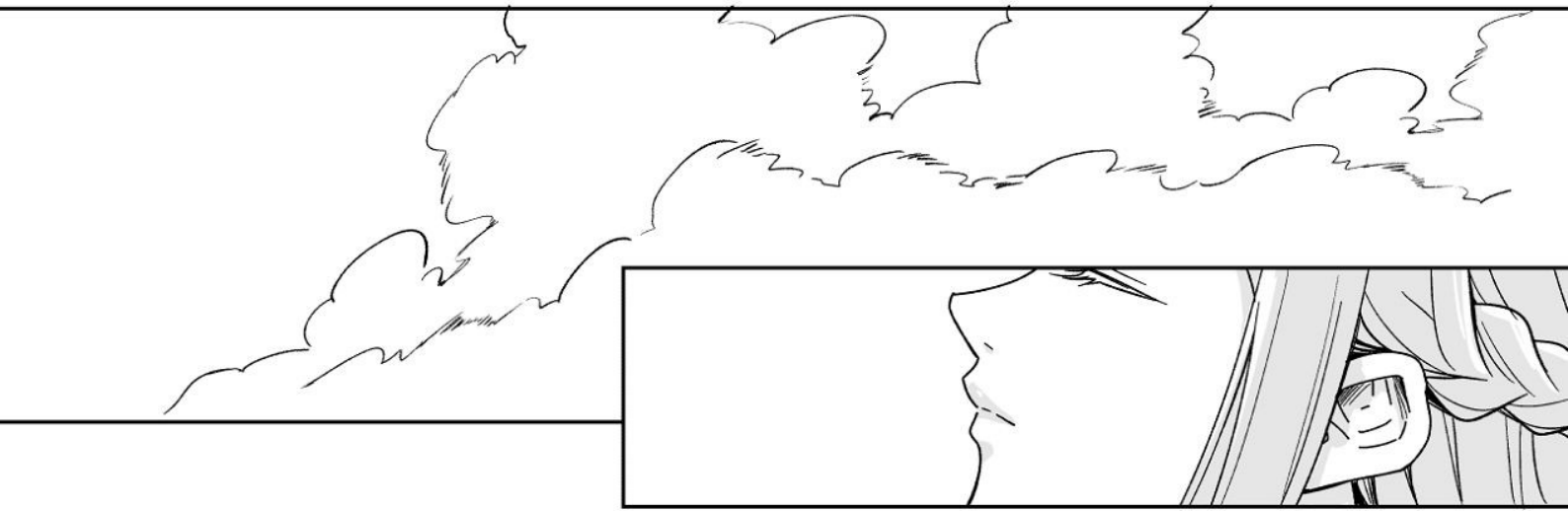


小梅か
いい名前だな！

俺は
篤志だ

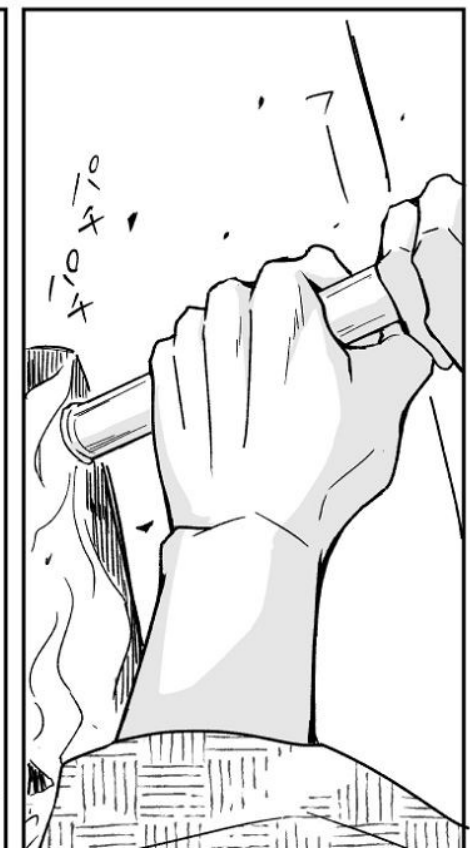


……必要ない
からだ



おう

いい匂いが
する





釣った魚で
鍋にしたんだ

この近くは
食うものに
困らないな

小梅も食うか？

生き物は
食わん

そうなのか…

え、殺生も
まずいとか？

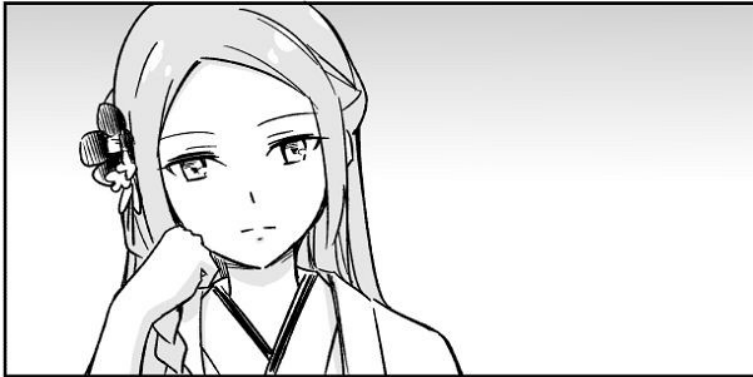
ア、ア、ア…

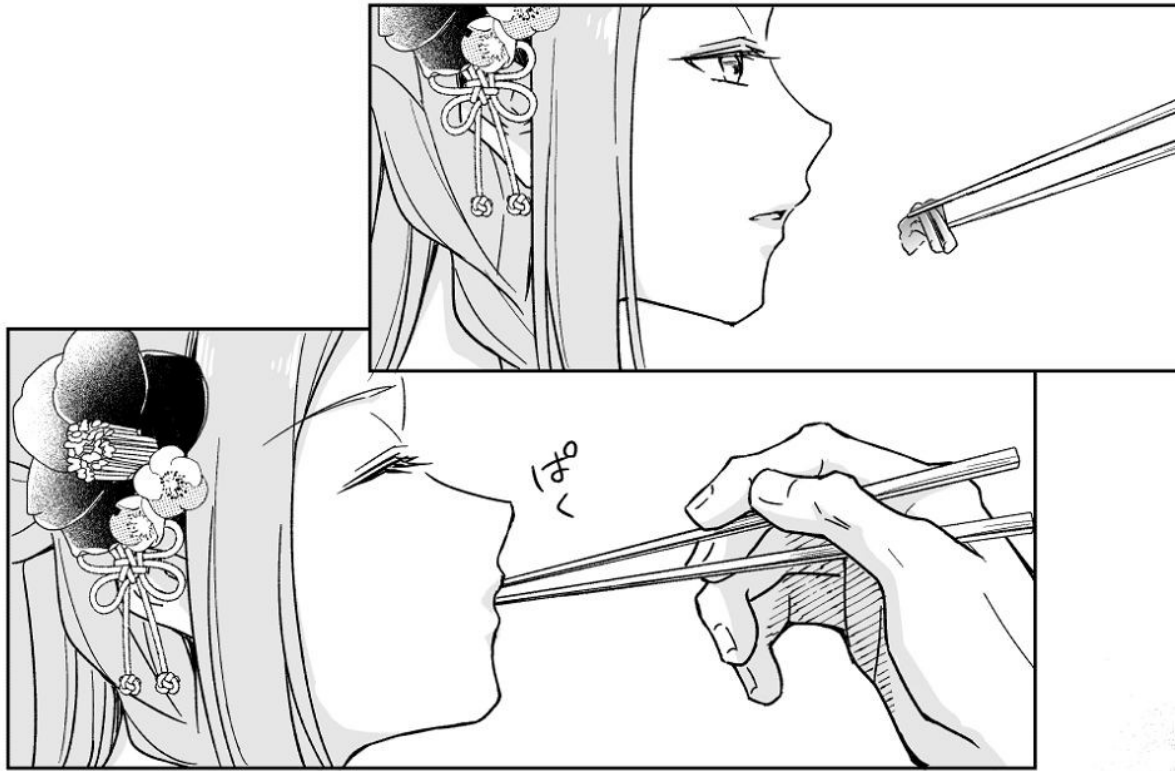
それは大丈夫だ

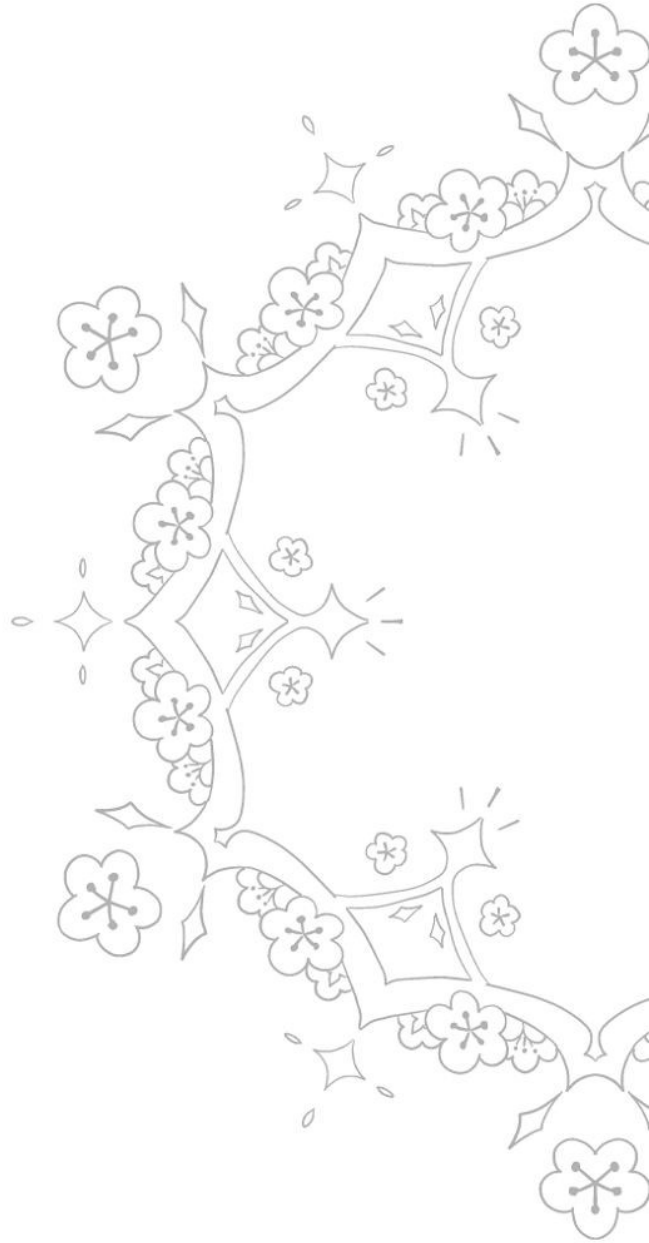
命は巡るもの
だからな

ほ、
良かった
良かった

いただきます

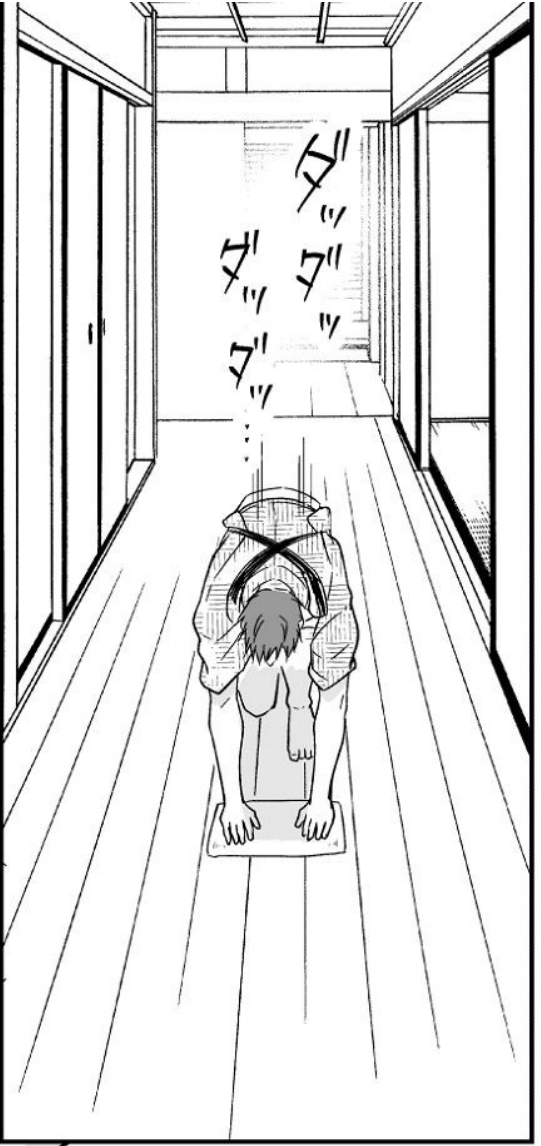






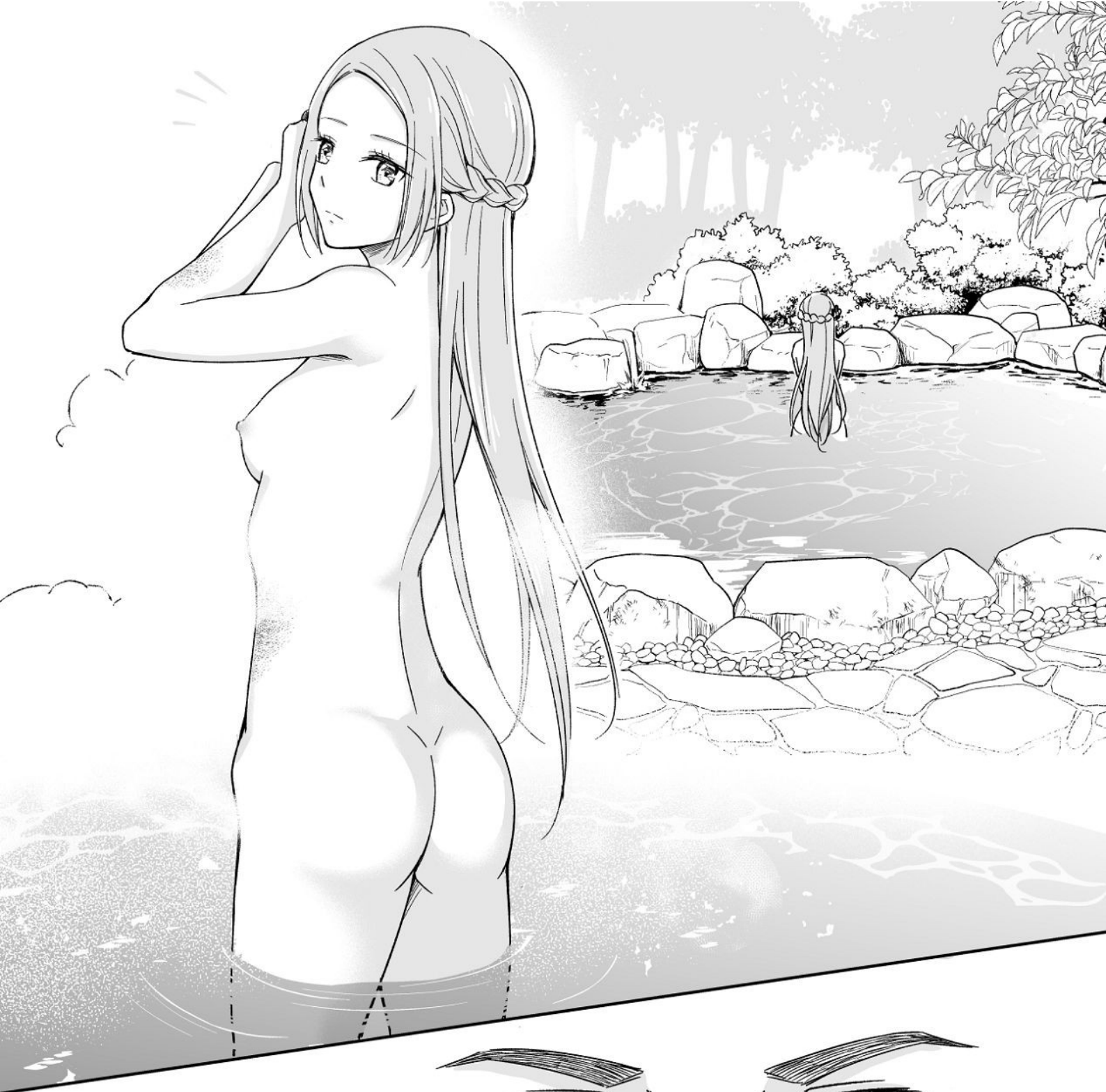


あとは
風呂の掃除か…



家に
露天風呂って

最高だよな



わ、悪い!!



あれだ

……どこだ？



篤志、
ちようど
よかった

上衣が風で
飛んでしまつてな

取れる
だろうか？



って、その前に
服を着ろ!!

別に私は
構わないぞ？

……俺がお前に
惚れてるってこと
忘れてないか？

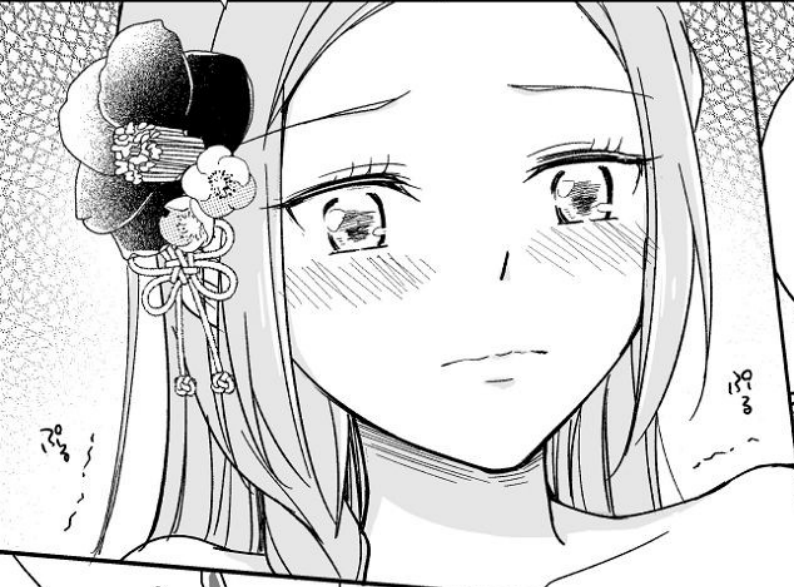
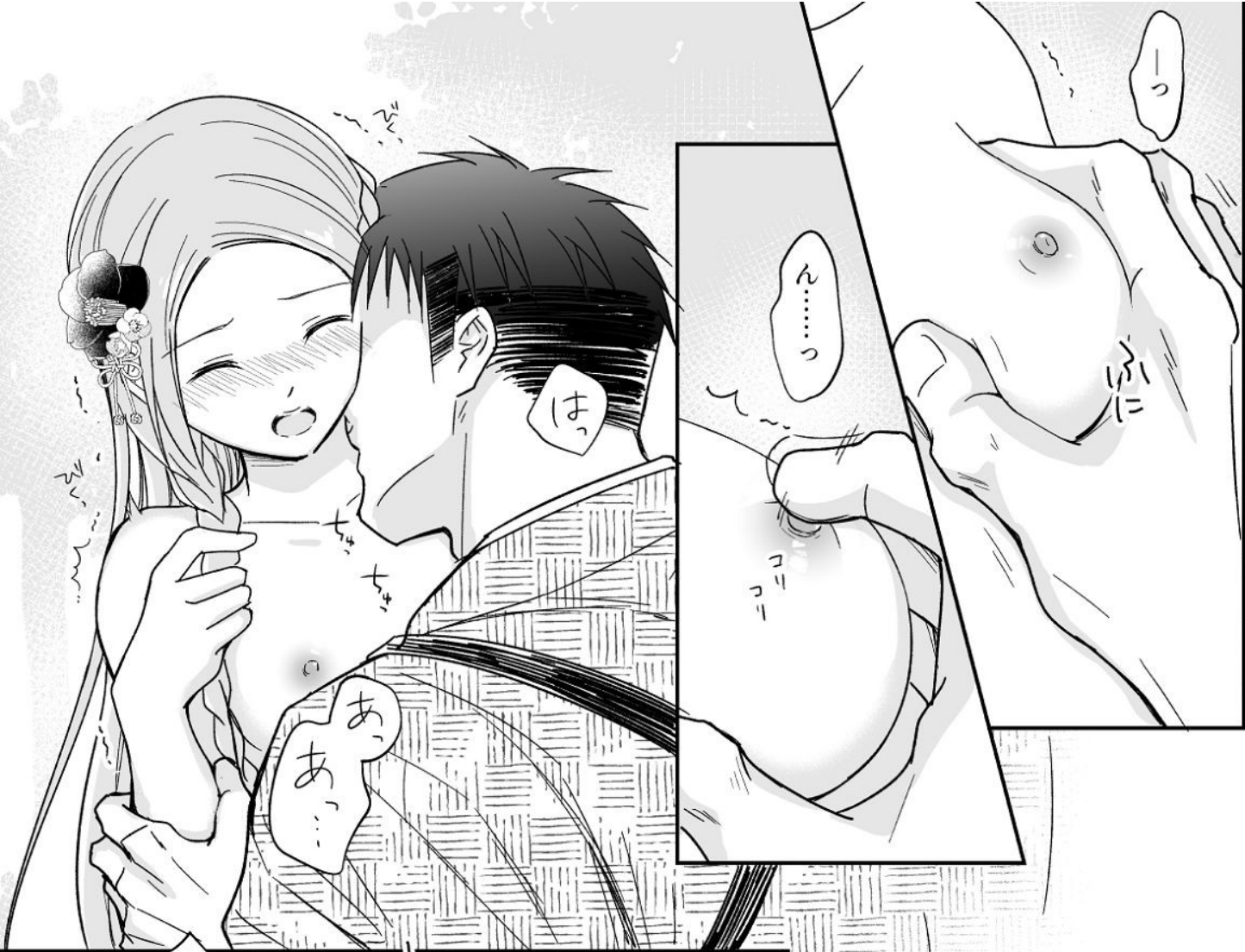


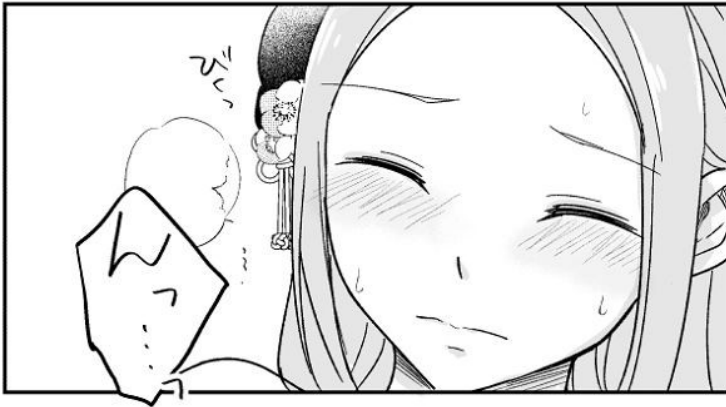
……ああ
本気だったのか

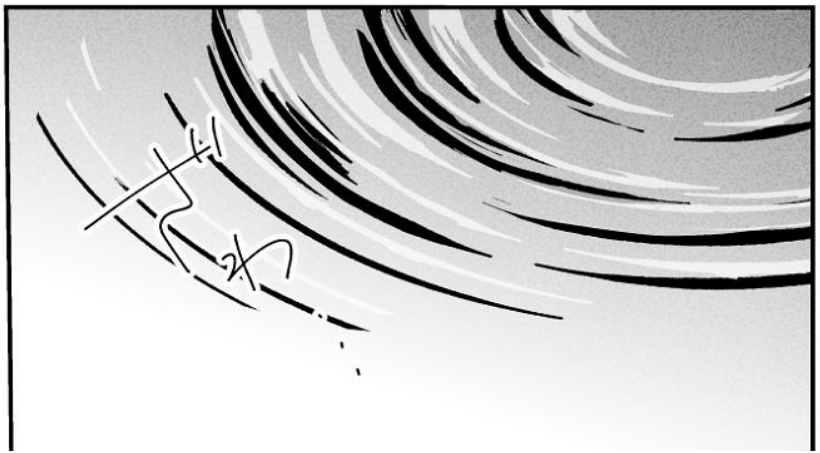
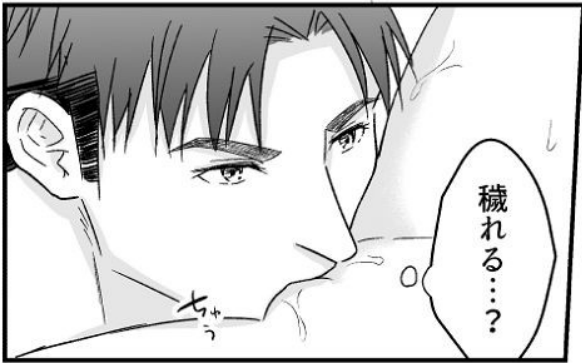
!!!

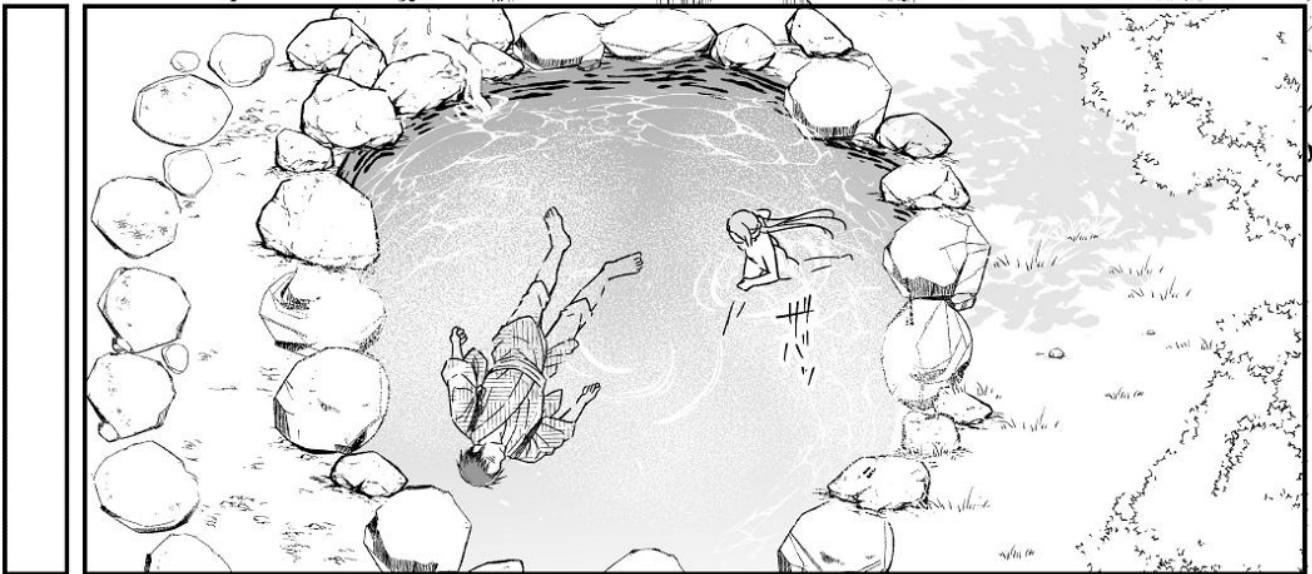


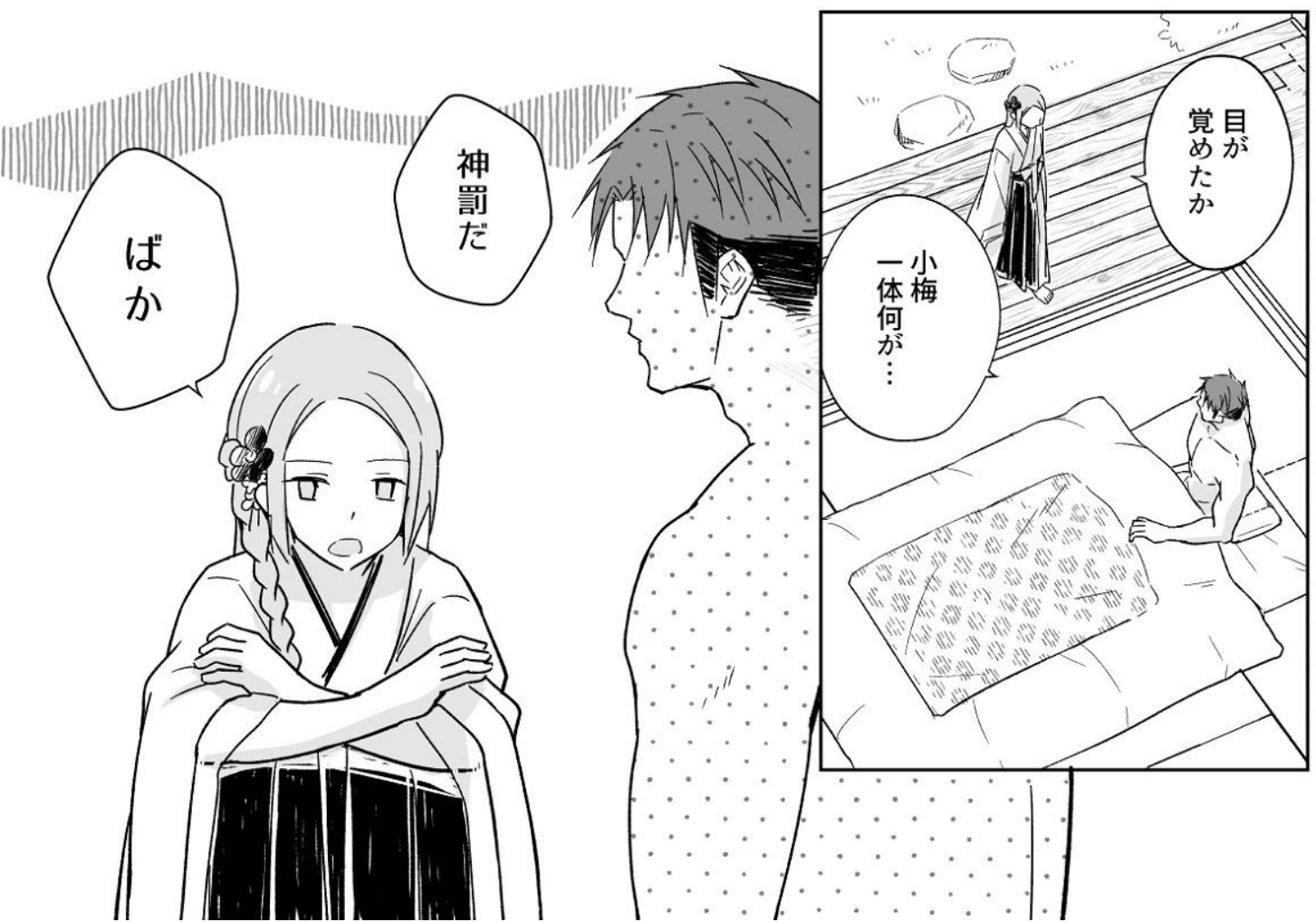
つま、
待て……っ













ありがとう

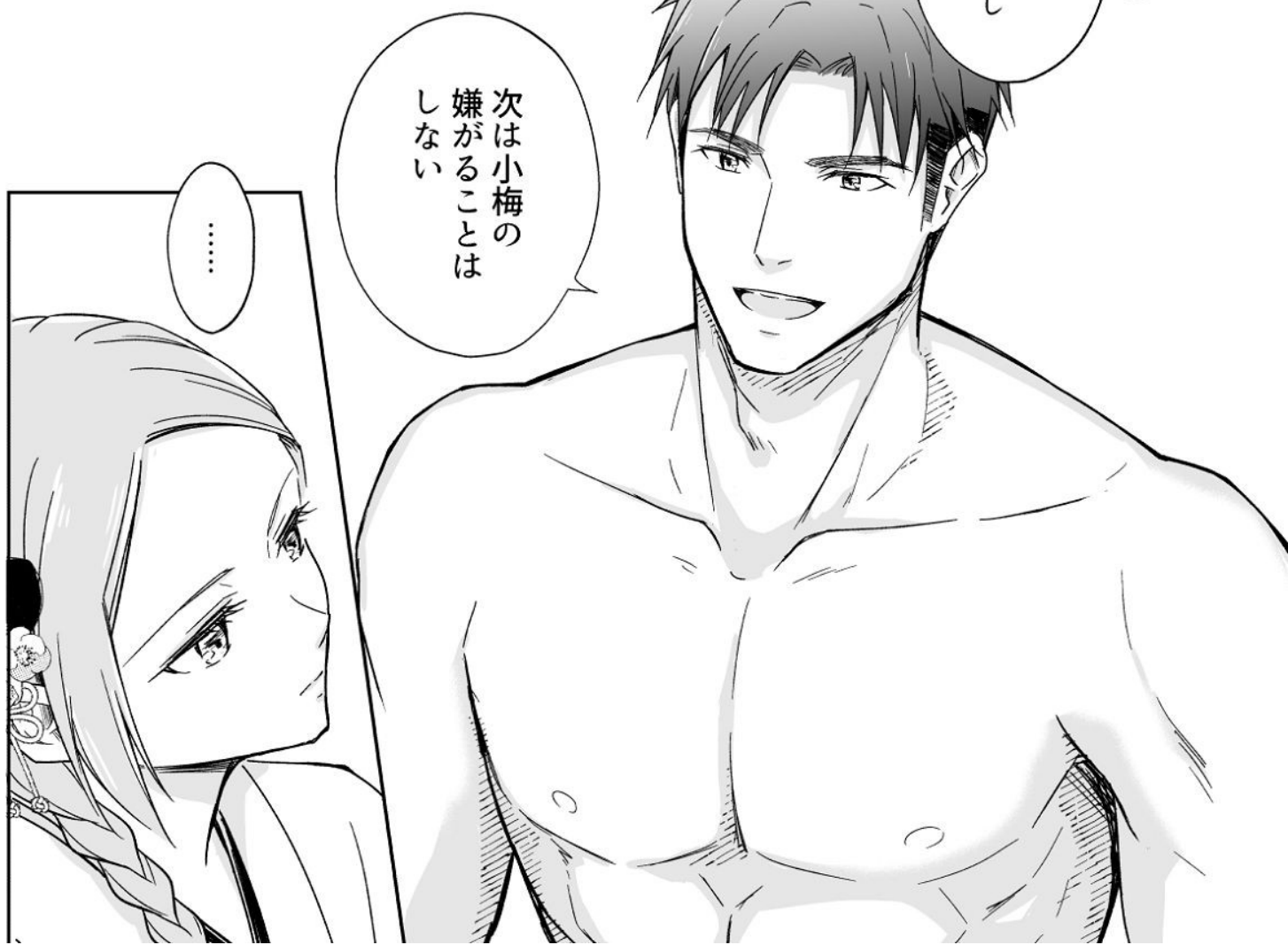
また助けて
くれたのか

悪かった!!



……お前、私が
怖くないのか?

何でだ?
俺が
悪かったし



次は小梅の
嫌がることは
しない

……

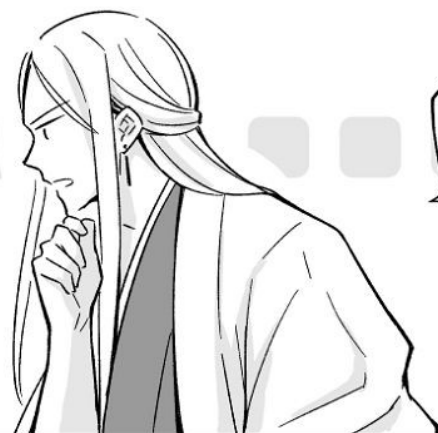
そういえば
体にあった
痣は何だ？

アサの

お前には
関係ないことだ――

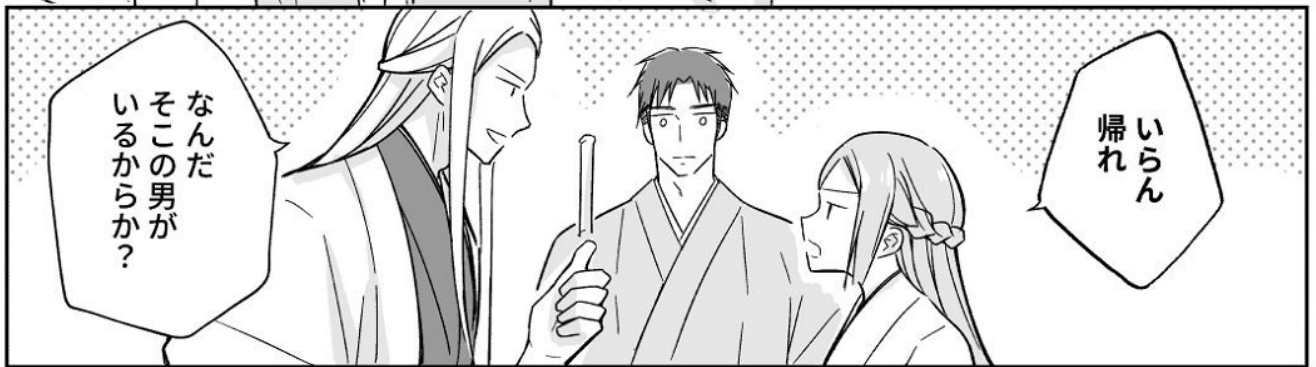


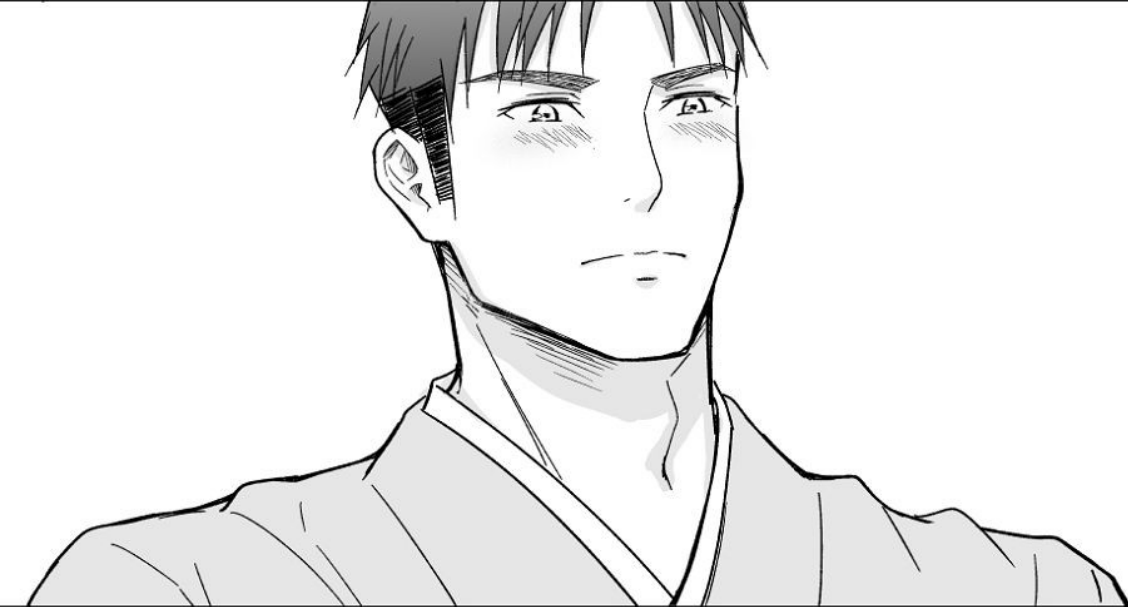
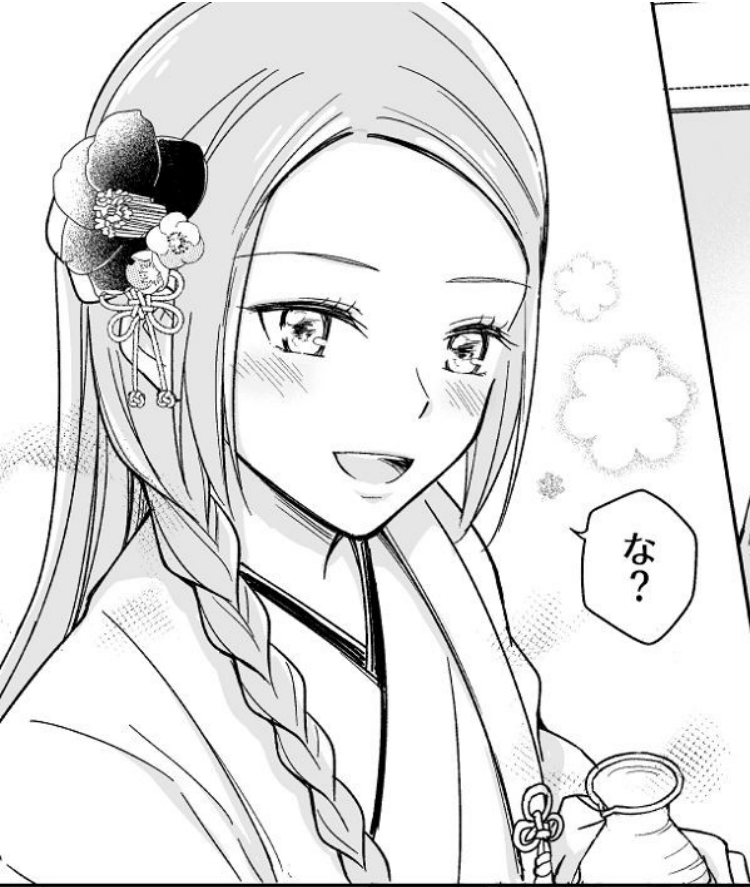
ぐさぐさ様……

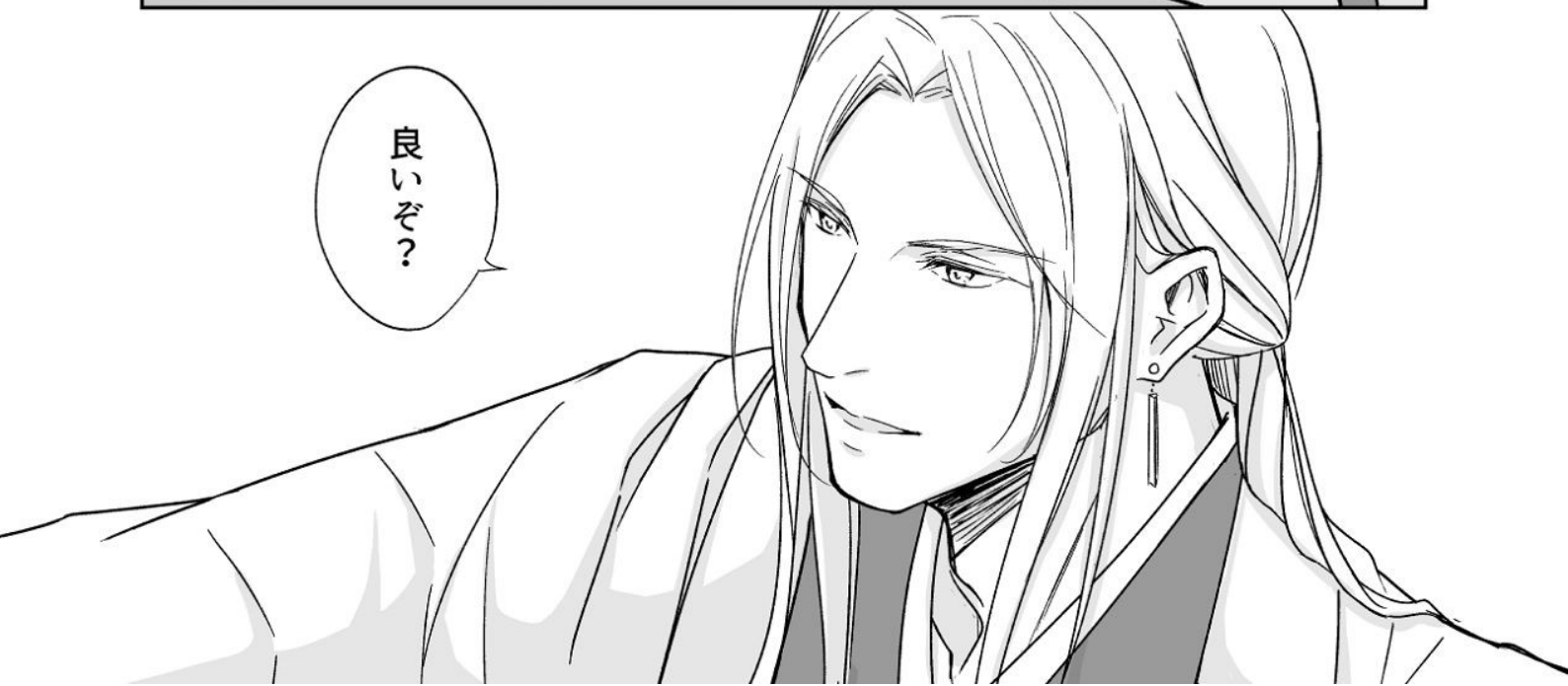
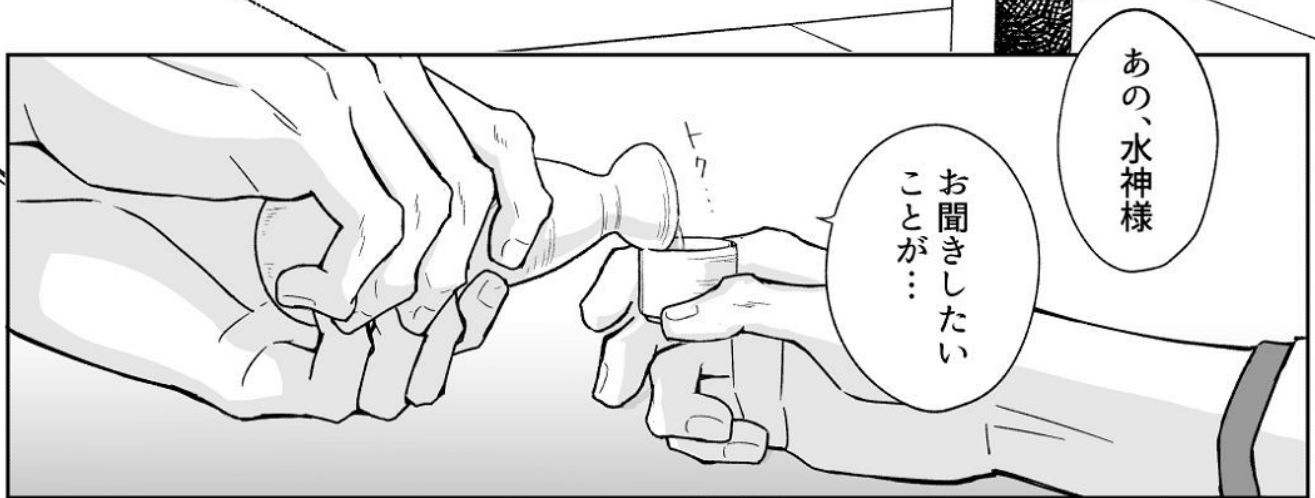
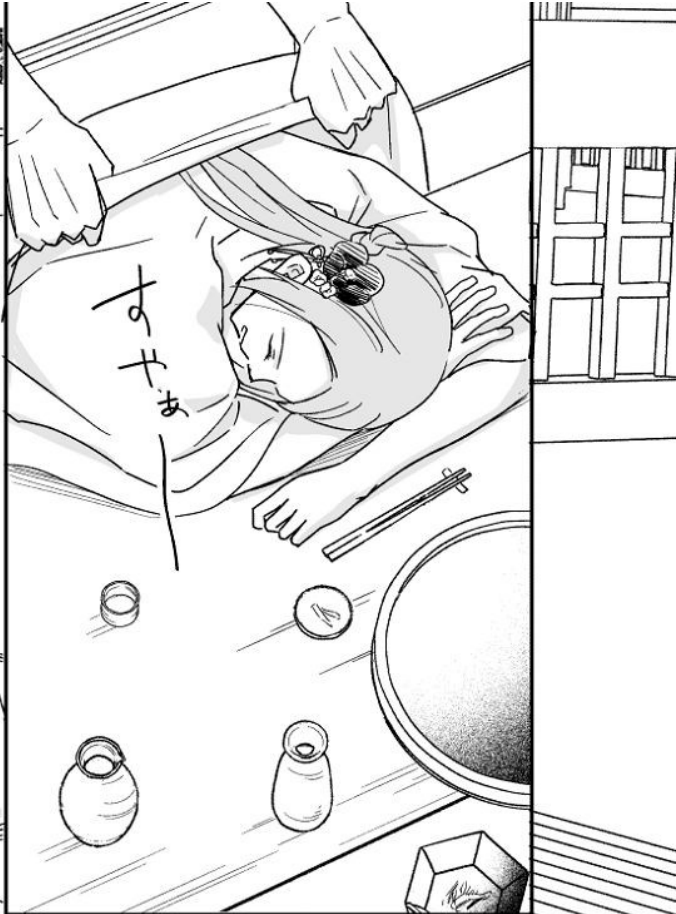


って、お前……

はっはっはっは







小梅：
花神の身体に
あざがあつて

あれは何なん
ですか？

なんだお前
まだ花神と
契っていないのか

奥手だな

ち……!?

あれは
穢れだ

穢れ……
ですか？

我々は人の世から
穢れを受けるのだ





穢れが溜まると
今代を終え

再び
生まれいづる



穢れを…浄化？

今の小梅を
助ける方法は
ないんですか



神は人から
嫁婿をとり

契ることで

穢れを移す

っそれなら、
俺を婿にして

穢れを
移せば…!



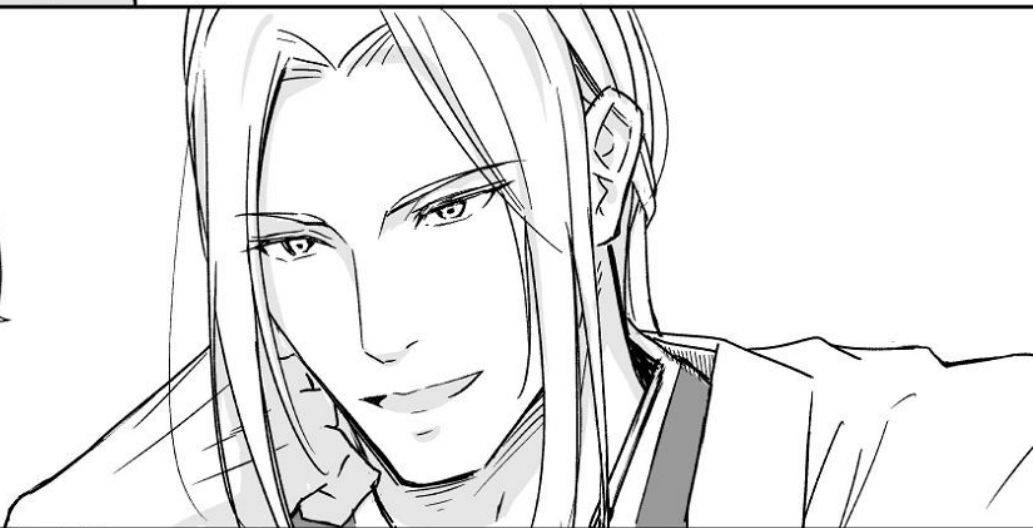
……あれは

「俺が」
穢れるという
意味だったのか…



駄目だ
これ以上は

穢れるから…っ



なぜお前を
婿にしないのか
教えてやろうか？

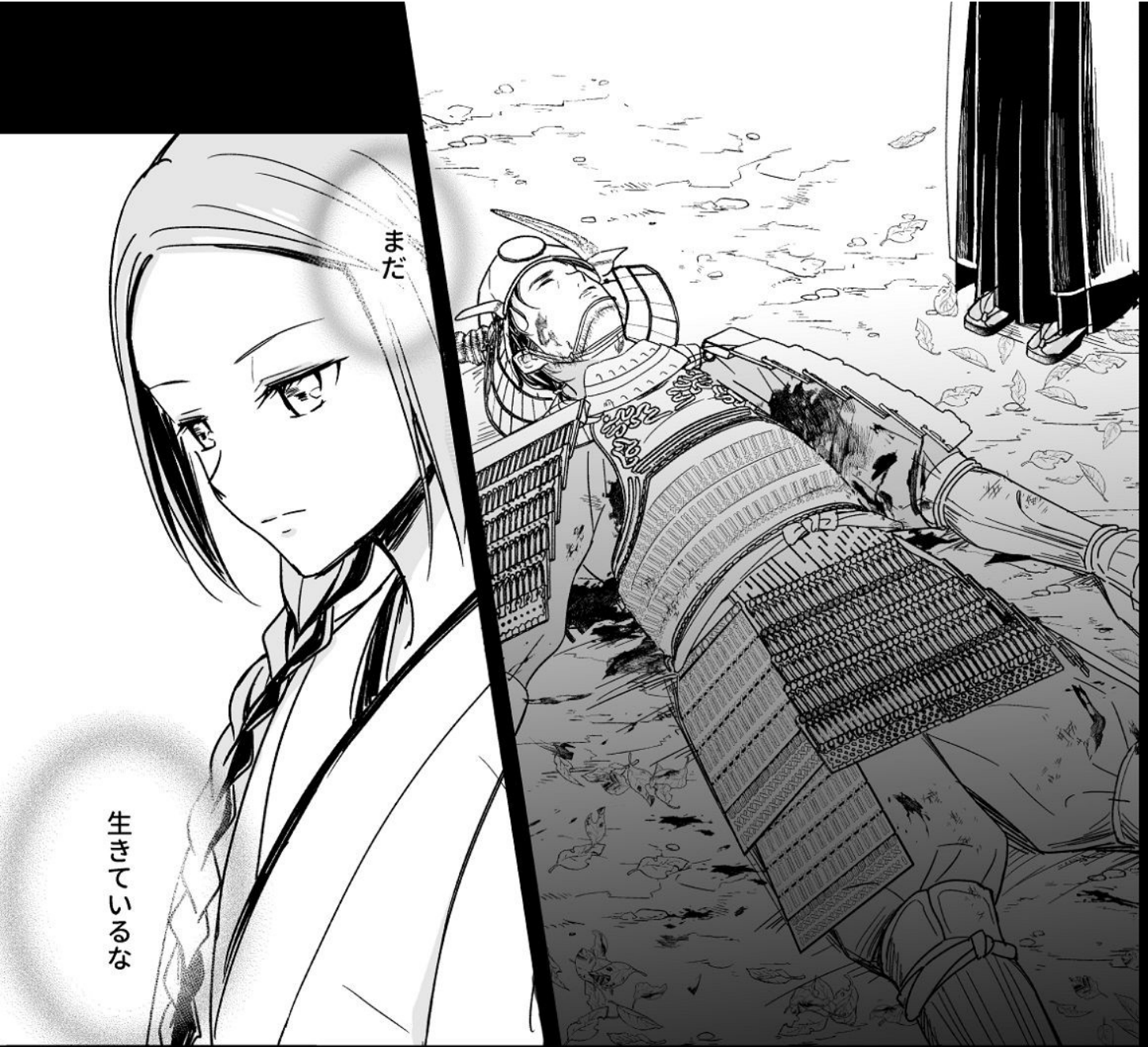


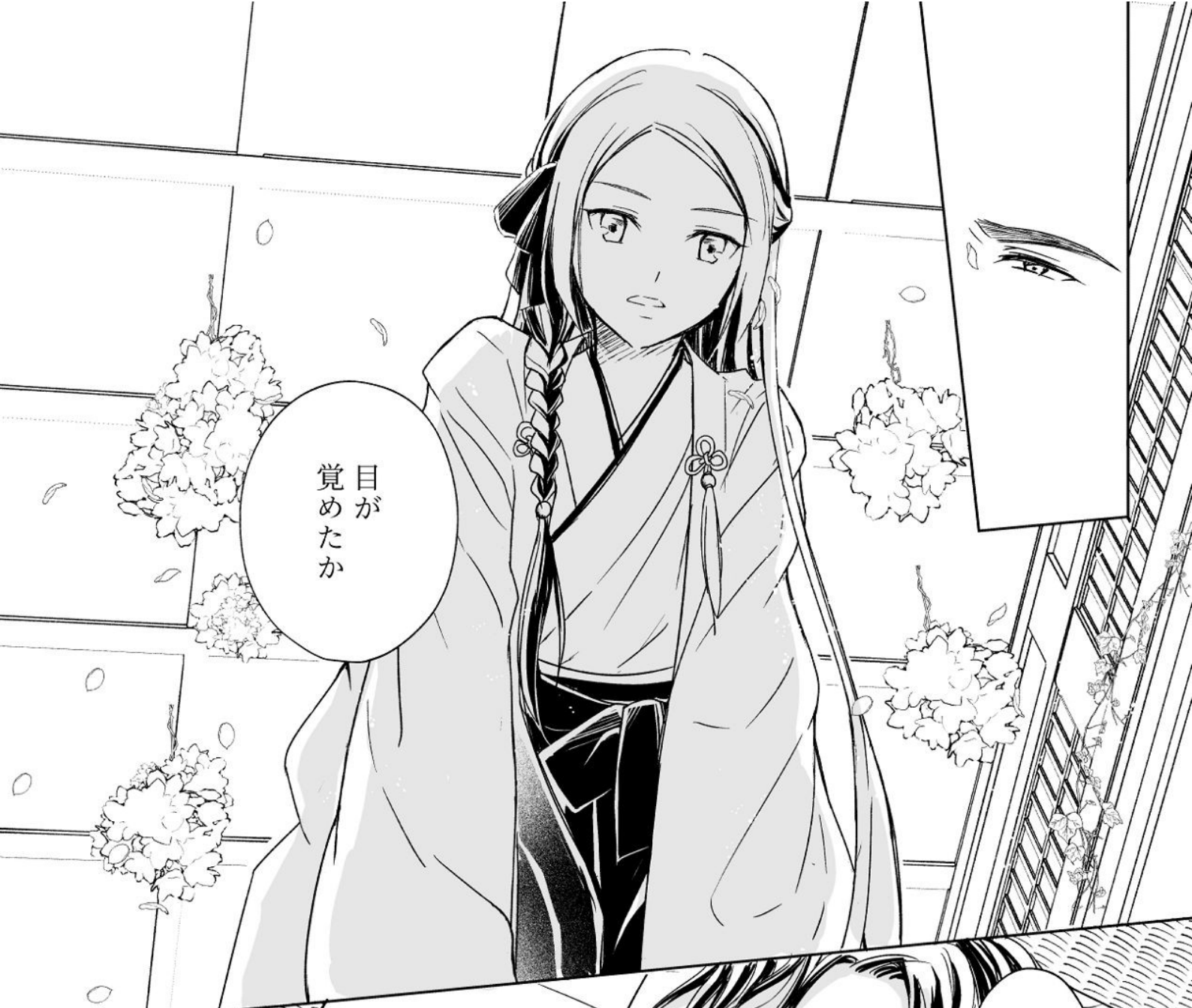


花神はな

昔の男が
忘れられんだ――







目が
覚めたか



天国か…?

ここは

は？

拙者、名を
高虎と申す

花神殿へ命を
助けていただき
感謝申し上げます

別に
気まぐれだ

左様か
拙者は運がいい

ところで：
敵将は拙者を
討った武功で
恩賞を得、

味方もまた、
拙者の武勇を
讃え褒賞を得た

拙者が戻れば
すべて虚になり
国が乱れる

拙者を
此処に、置いて
くれぬだろうか

人の事情など
私は知らぬ

はは、
それもそうだ

では、違う
理由では
駄目であろうか

花
神
殿

ひと目で
惚れ申した



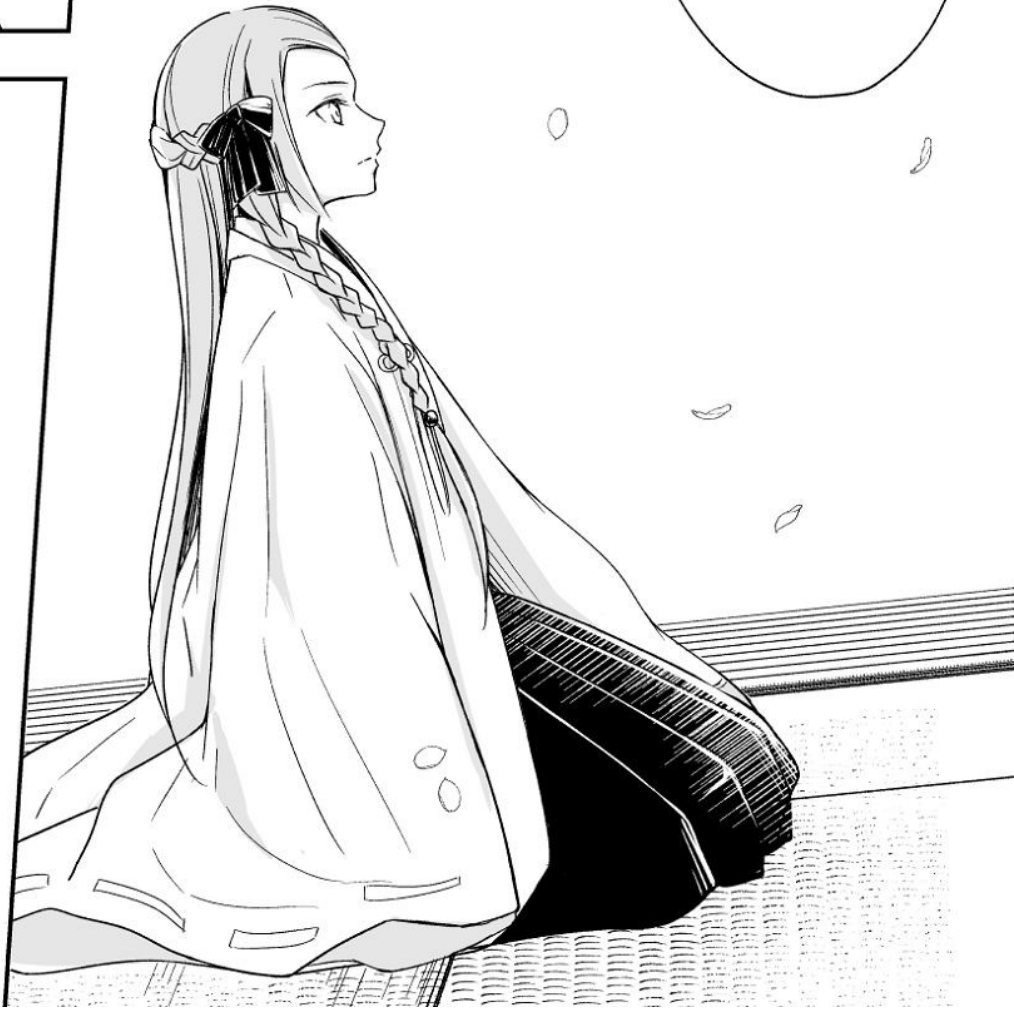


許されようか



これほどの
幸いはないのだが…

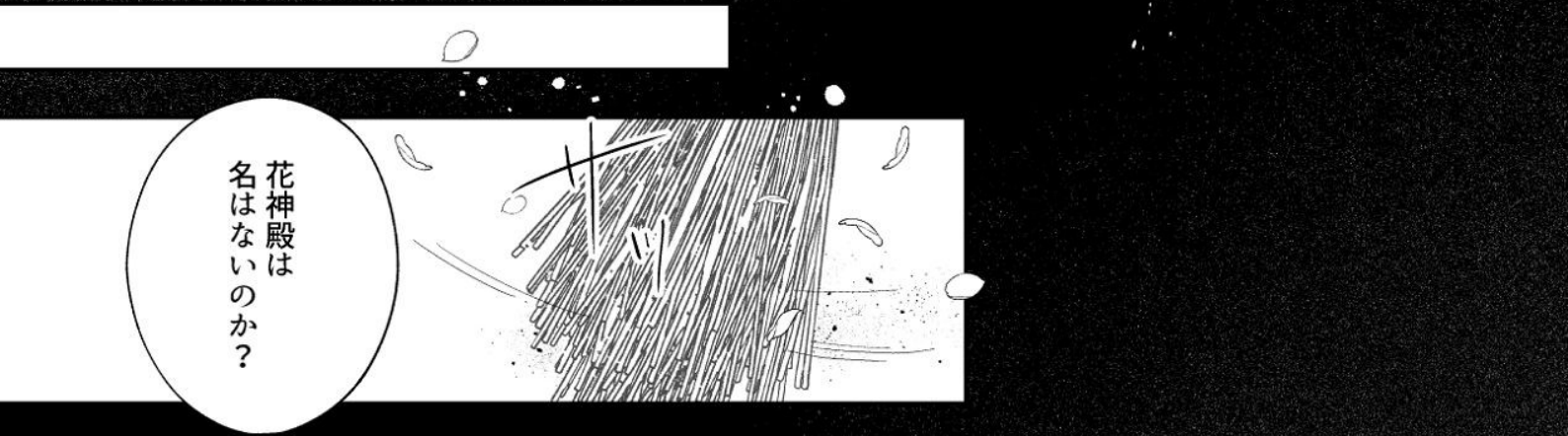
そなたの傍に
居られれば





好きにしる

左様か！

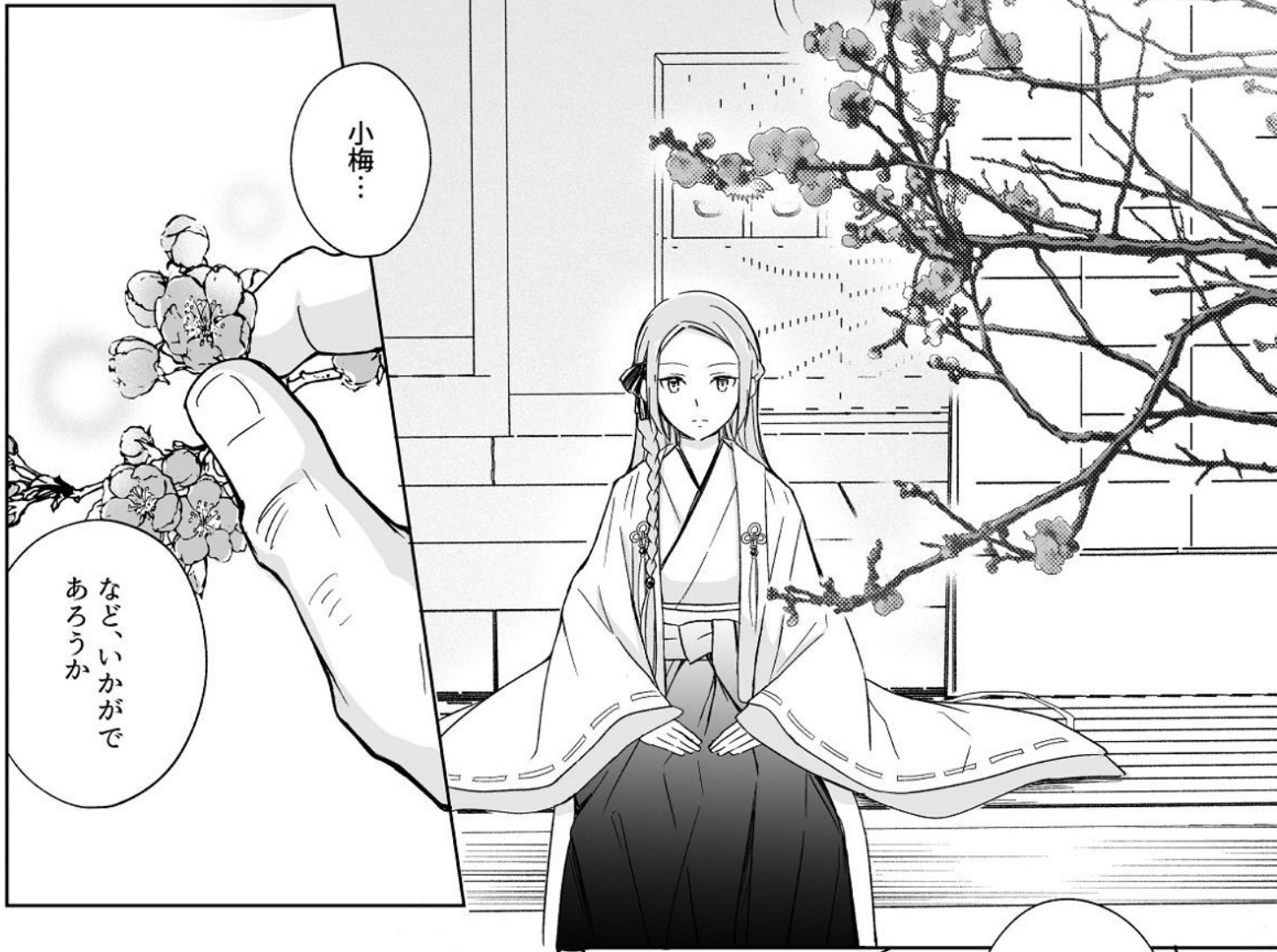


花神殿は
名はないのか？



そうか…
惜しいことよ

人のような
名は持たぬ



小梅...

など、いかがであらうか

いち早く
春を告げる



美しい花だ



はっ
ついでに花を
手折って...!

それに、神に
「小さい」などと
不敬であったか

いい

小梅、と



小梅殿

近くで
魚を釣っても
構わぬか？

良いぞ

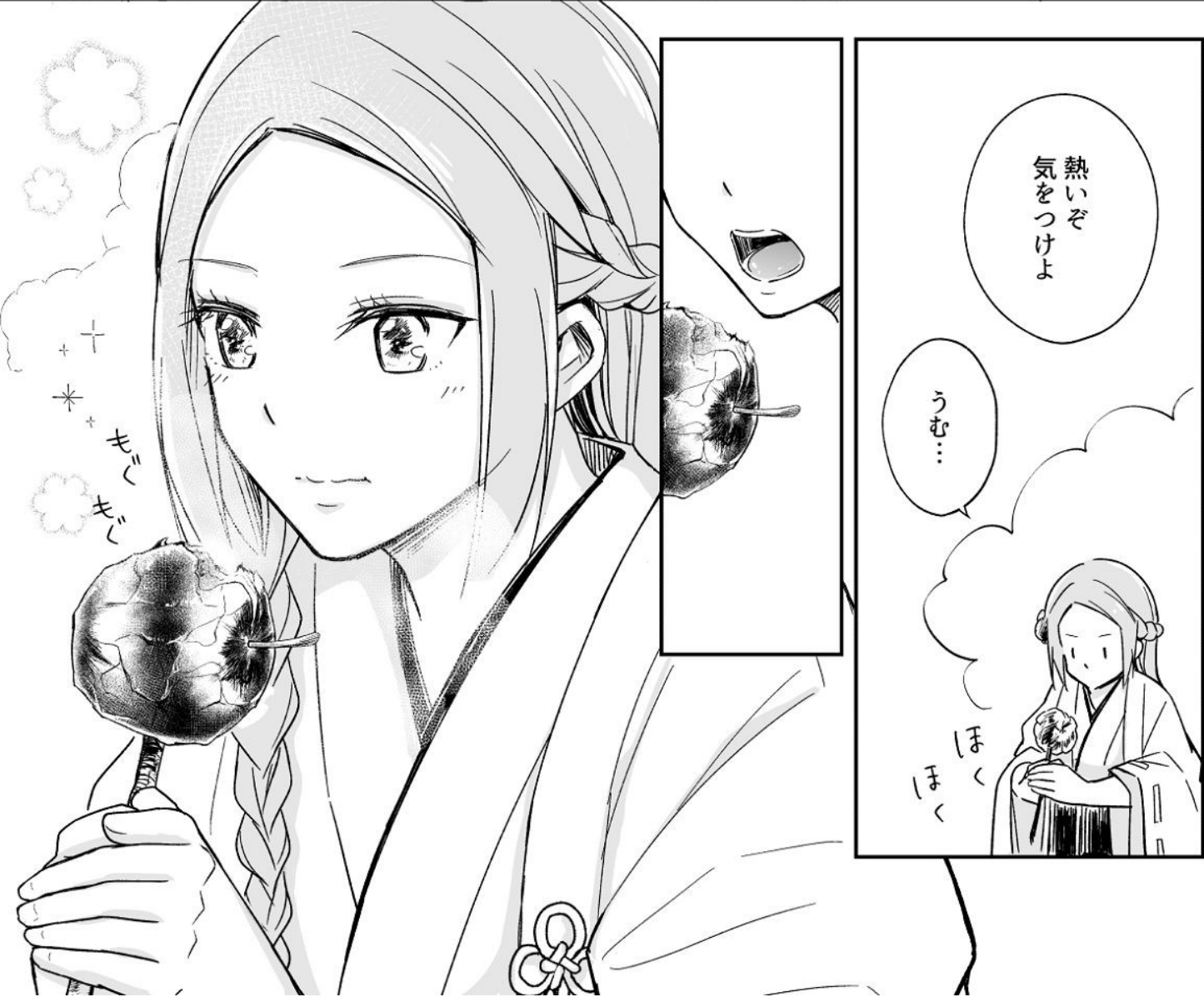
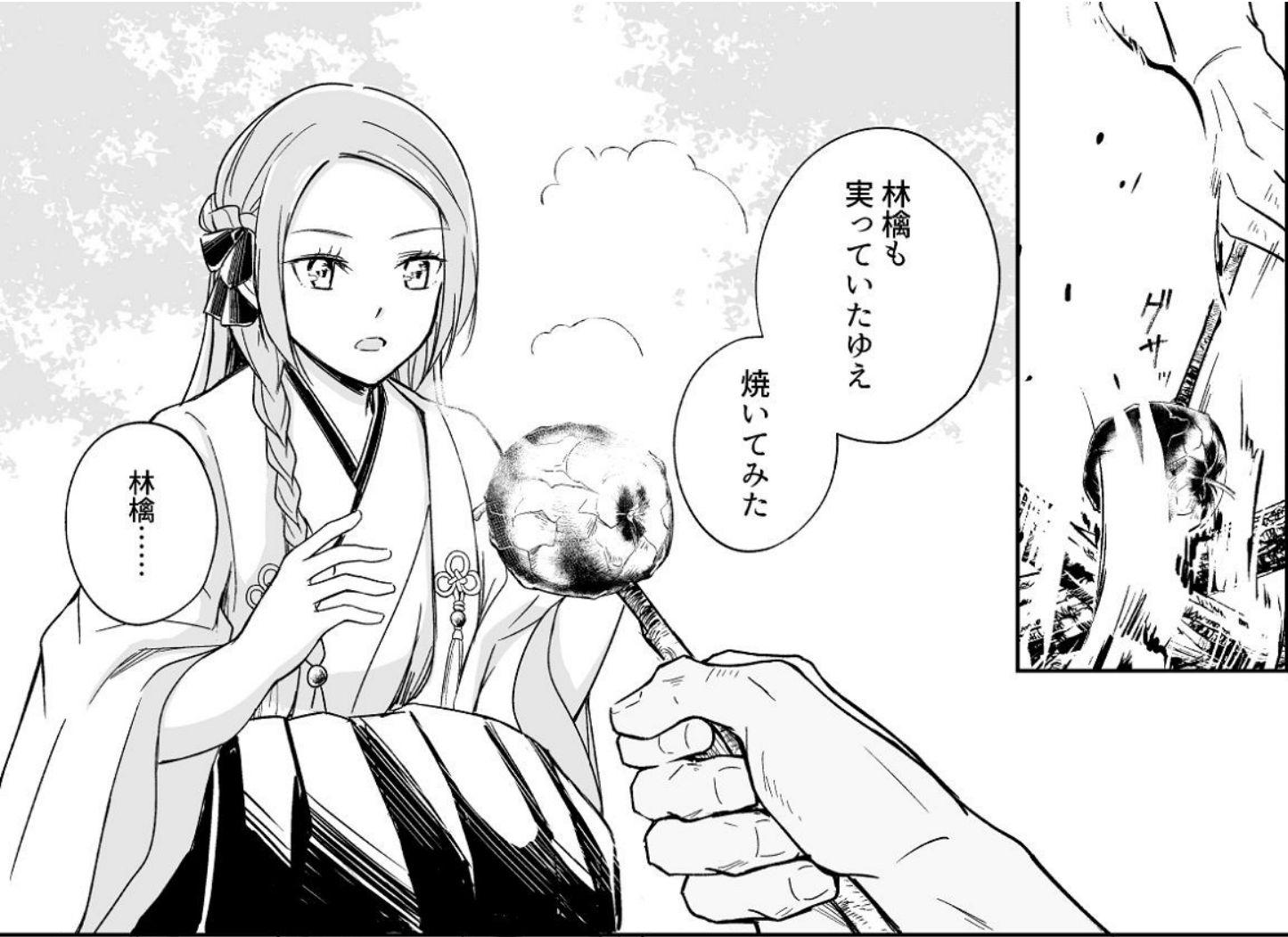


うまそうだ

小梅殿は
生きたものは
食べぬのだったな



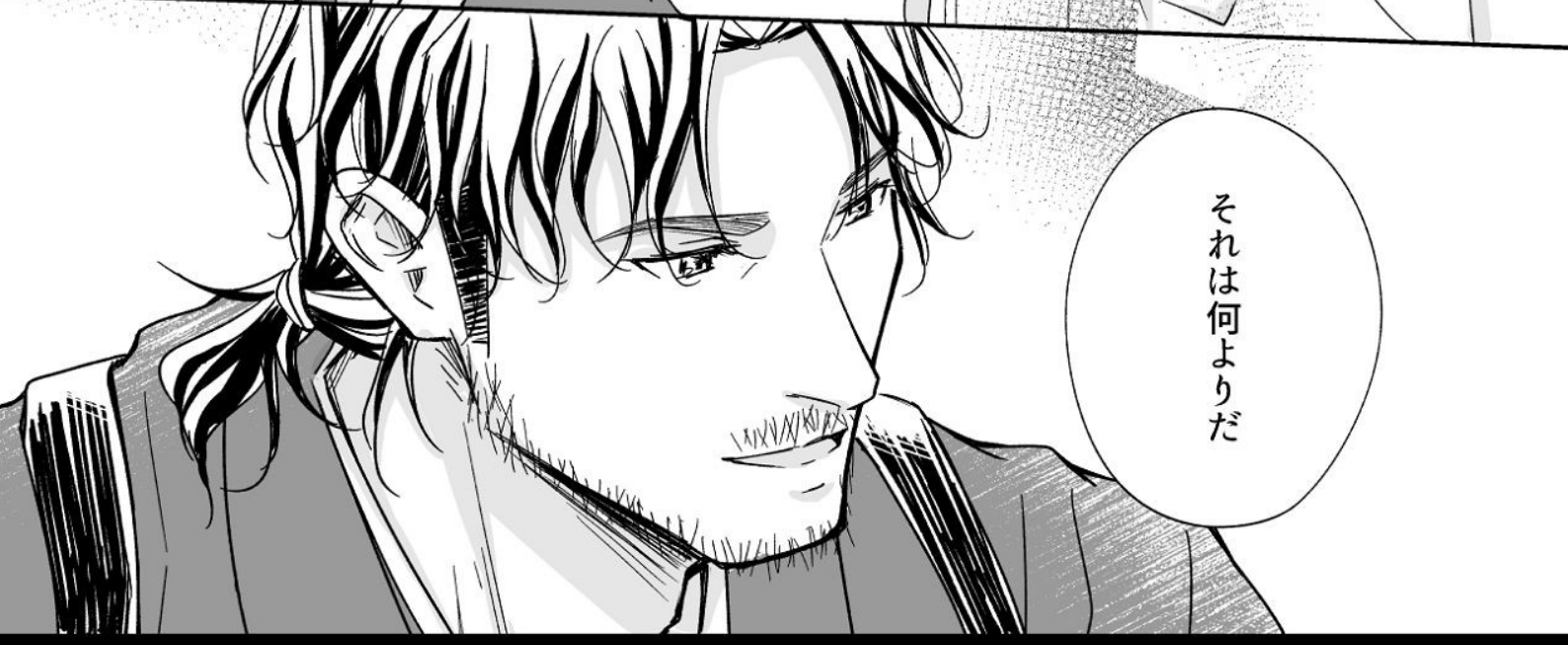
104
104





美味いか？

うまい



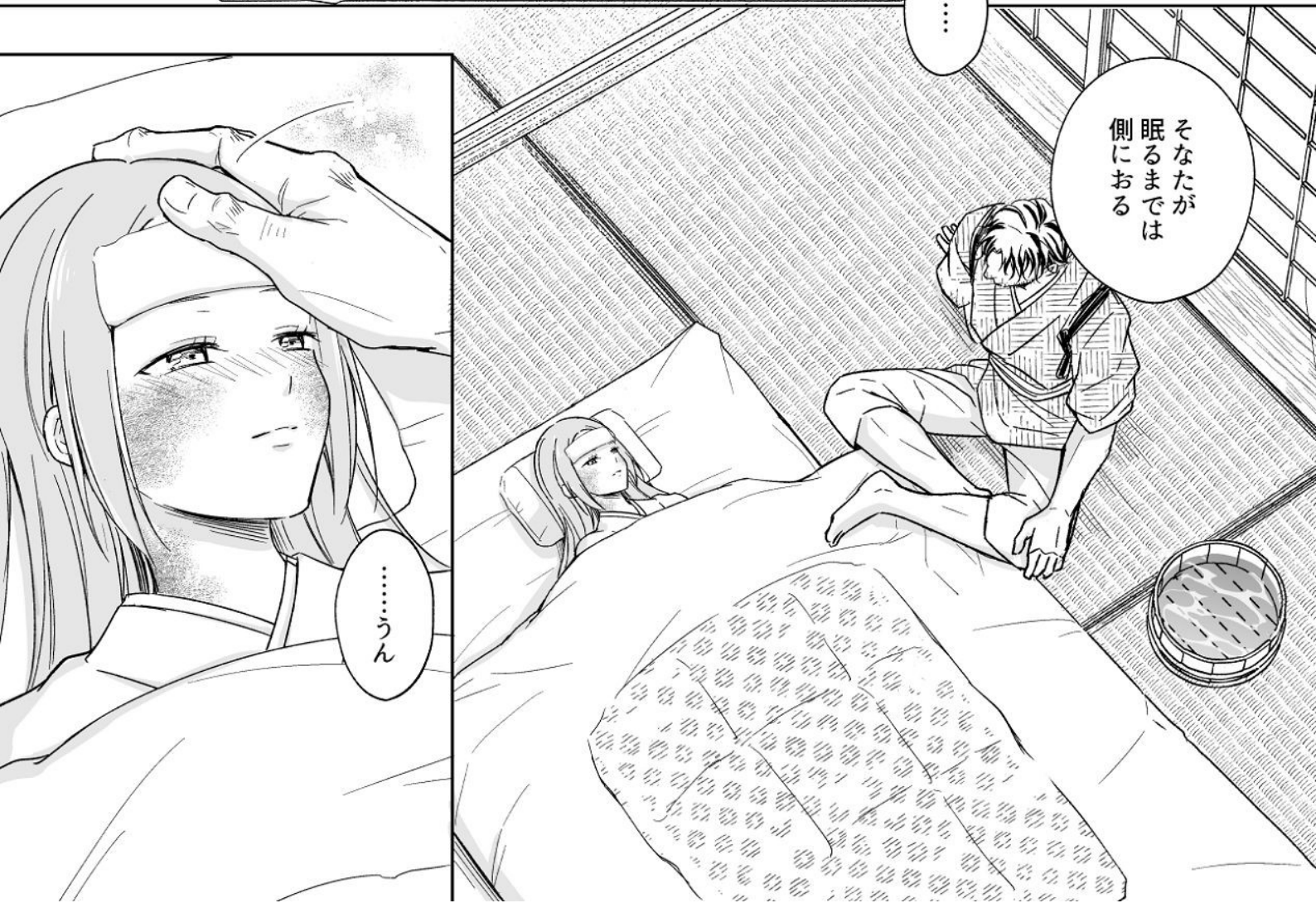
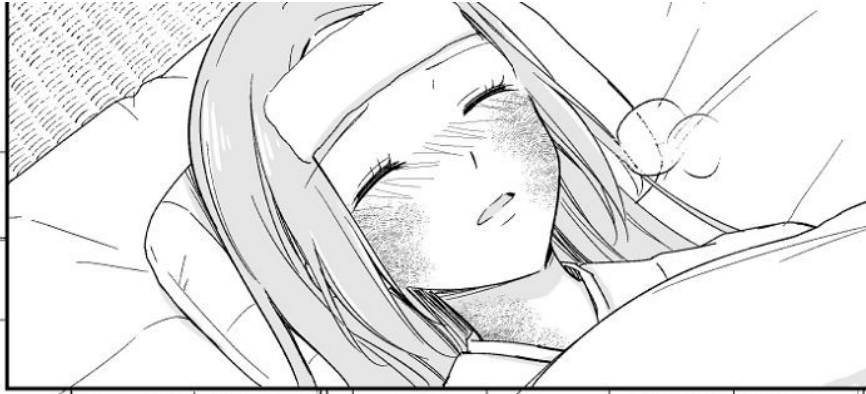
それは何よりだ





水を
汲みに行く

何処に
行くのだ？



...

そなたが
眠るまでは
側におる



……うん



神も病を
得るのか…？



お前、
花神の婿か？



小梅はただ
「側におれ」と
申すばかりで

何も語って
くれぬ



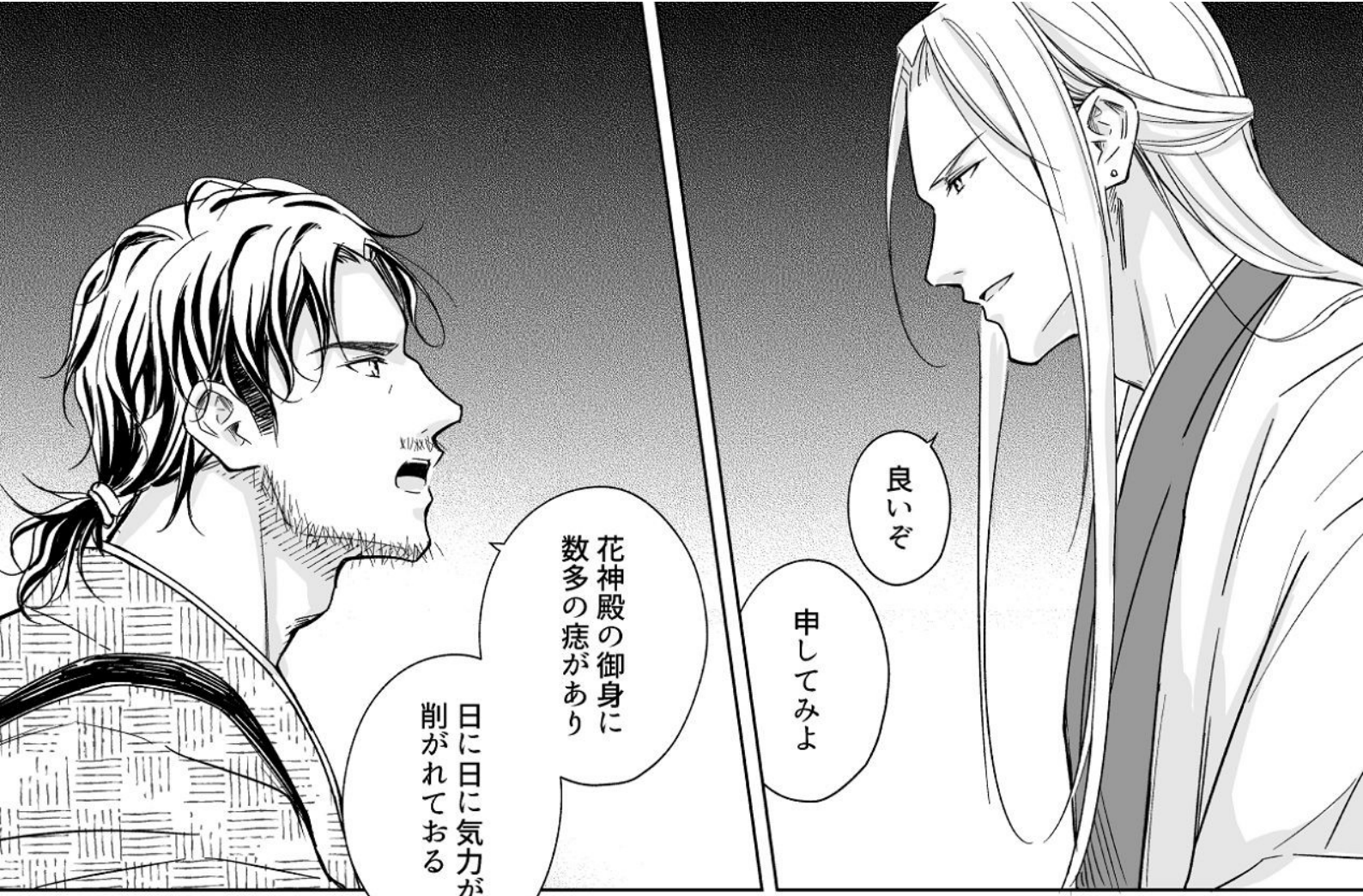
神

?

ハッ

ひとつ、お伺い
したいことが……

名のある御身と
お見受けいたします



良いぞ

申してみよ

花神殿の御身に
数多の痣があり

日に日に気力が
削がれておる

もし、何か
ご存じであれば…

なんだお前、
まだ花神と
契っておらんのか

随分と
慎ましいな

は
—
?



その痣は
穢れだ

神が
身に溜める
死の影よ

助ける
方法は

水神殿より
聞いた

拙者を
婿にしてくれ

小梅!

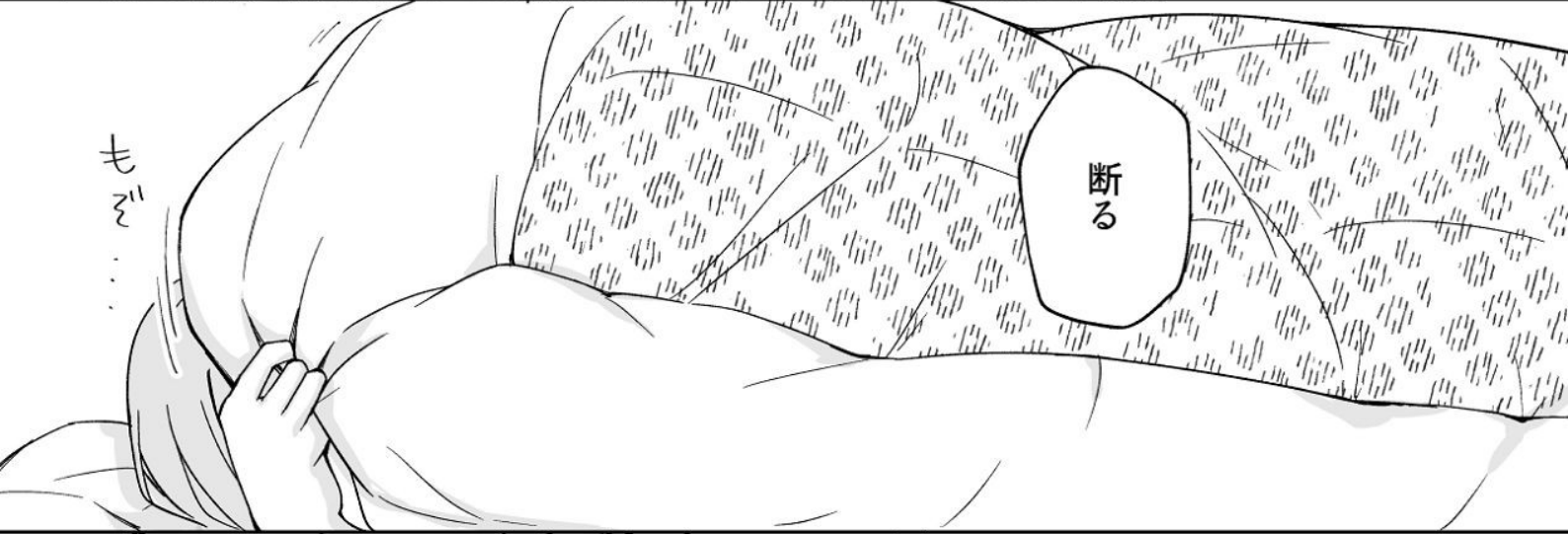




助けたいのだ
小梅……!!

頼む!

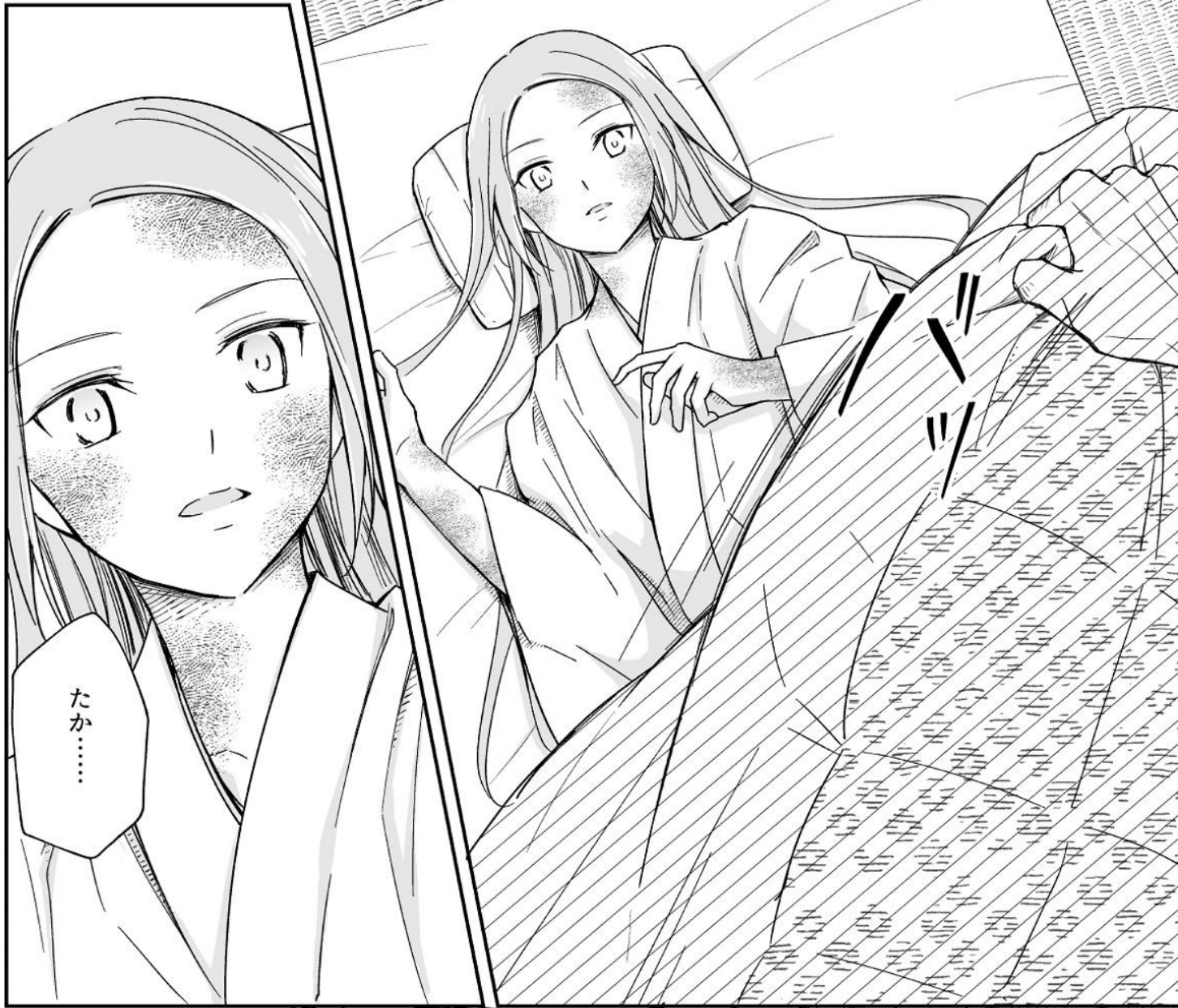
…嫌だ



断る

もぞ



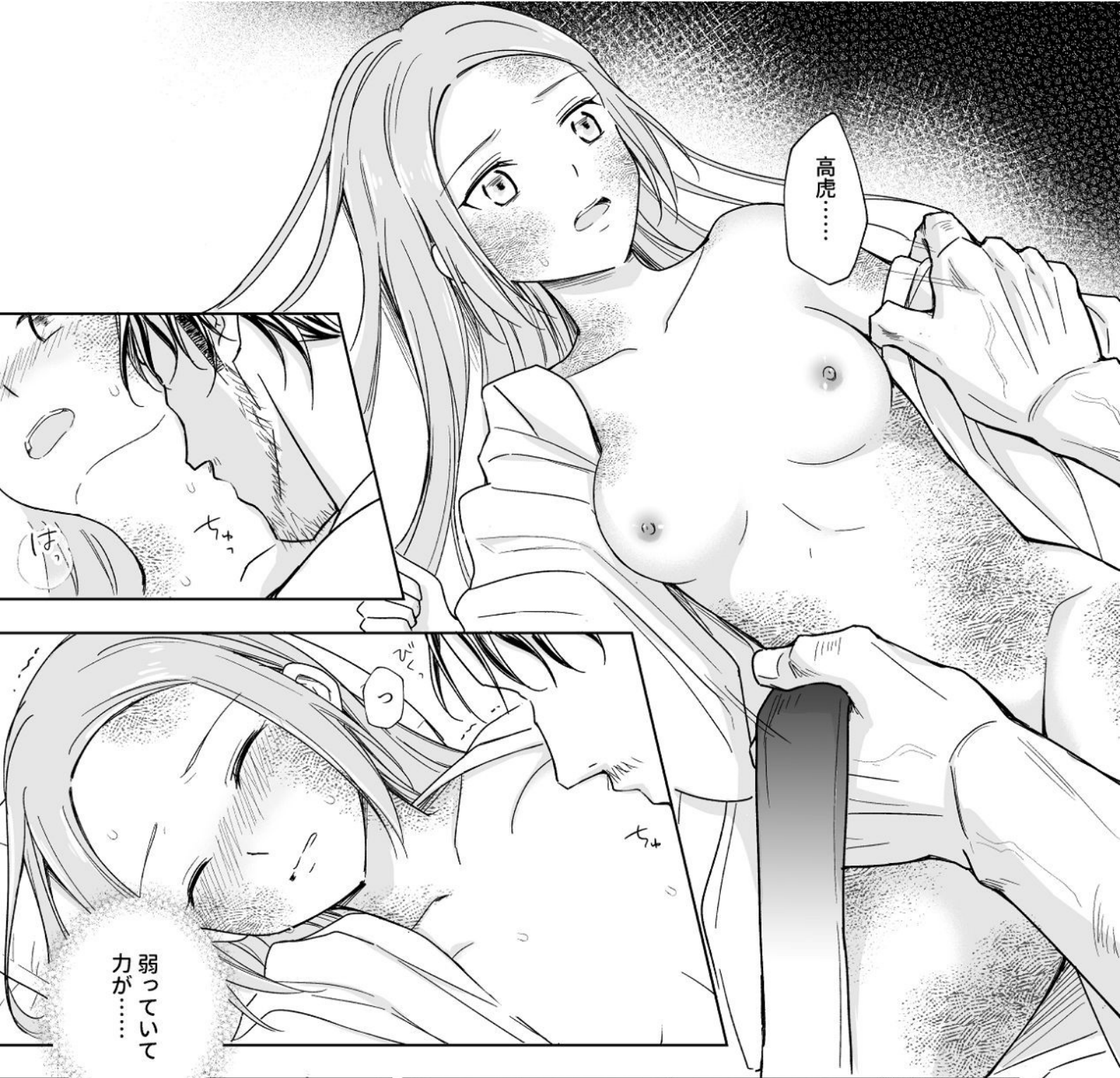


たか……

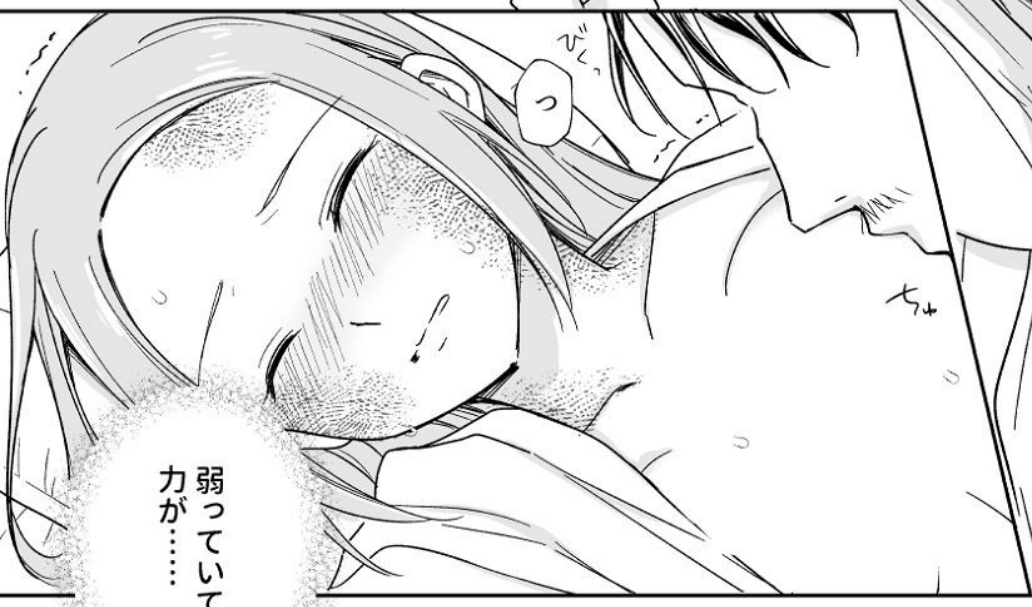
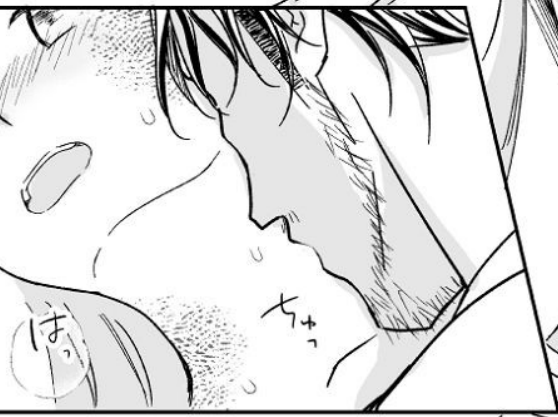


すまぬ

許せ



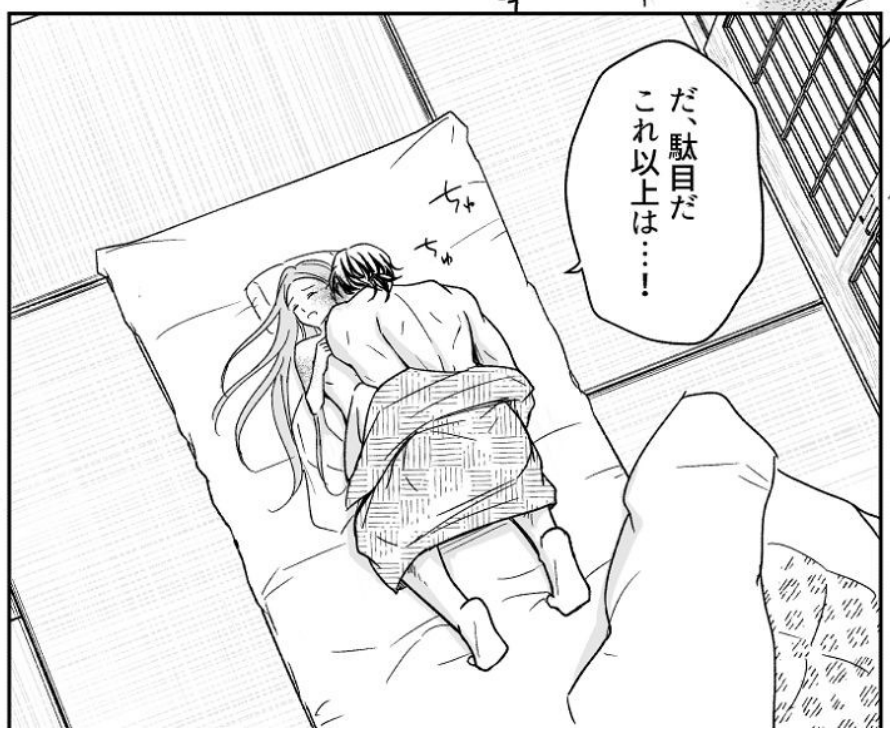
高虎...



弱っていて力が...



いやだ
高虎...



だ、駄目だ
これ以上は...



う……っ

小梅……



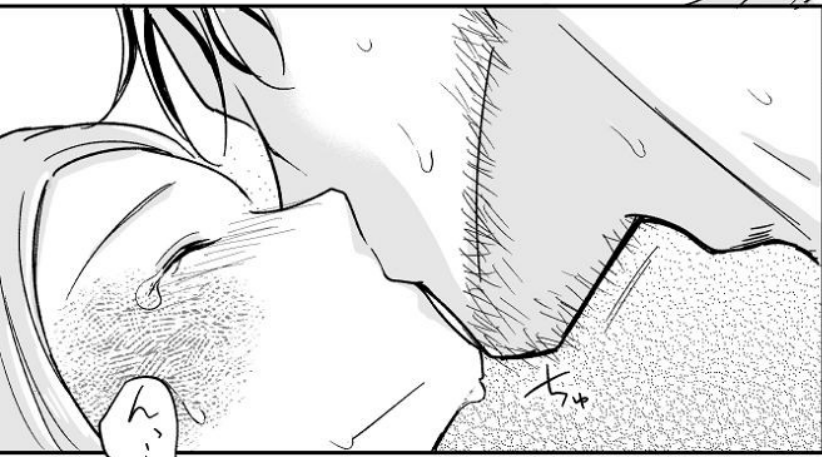
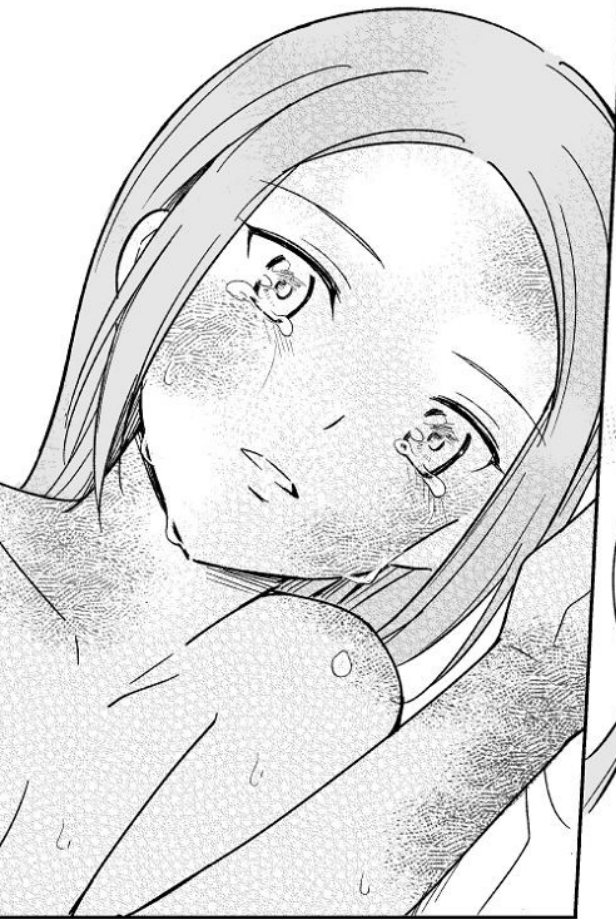
すまぬ

泣かないで
くれ……



ん……っ

ん……っ







ありがとうございます

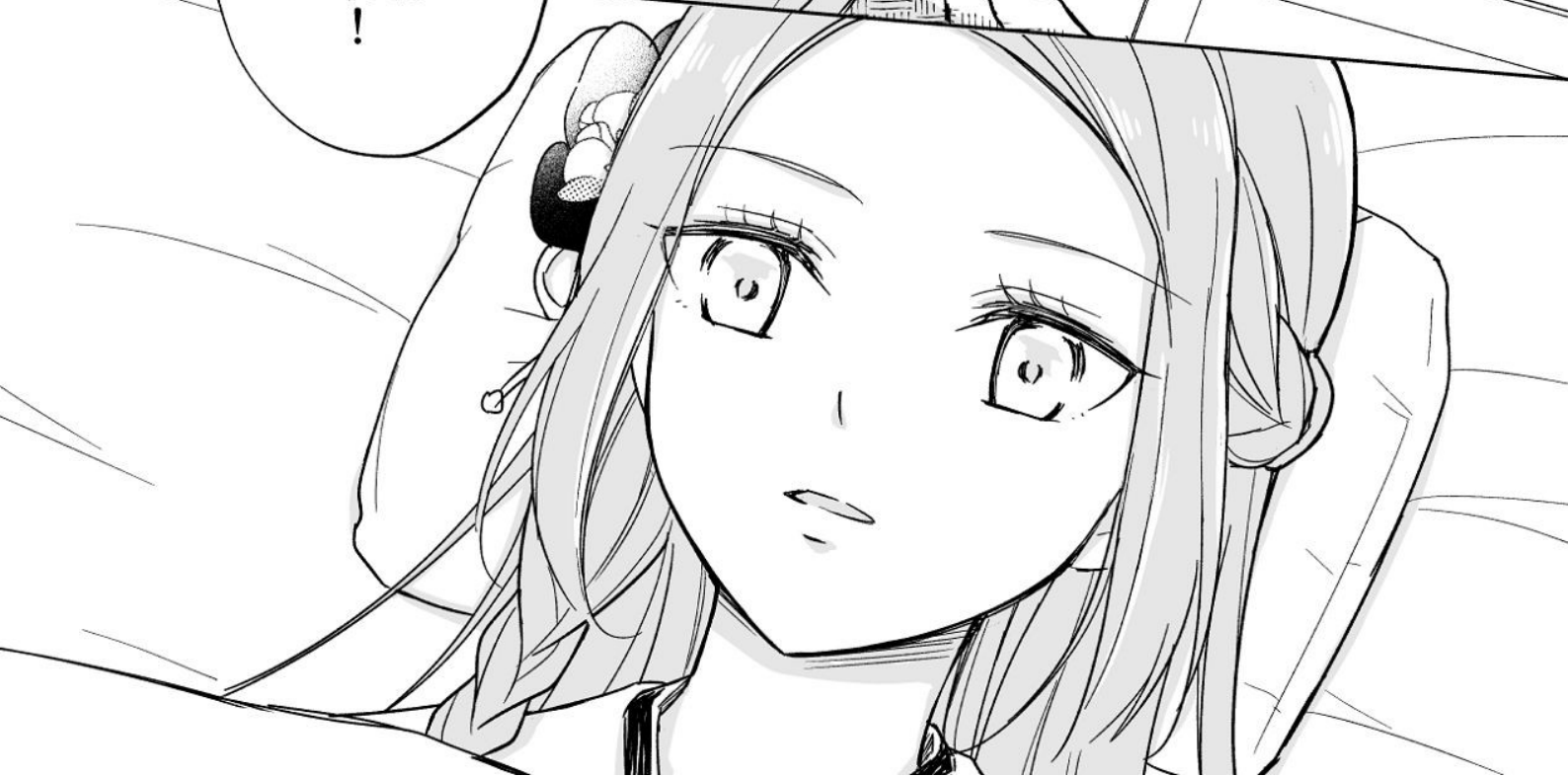
小梅...



水神

私決めた

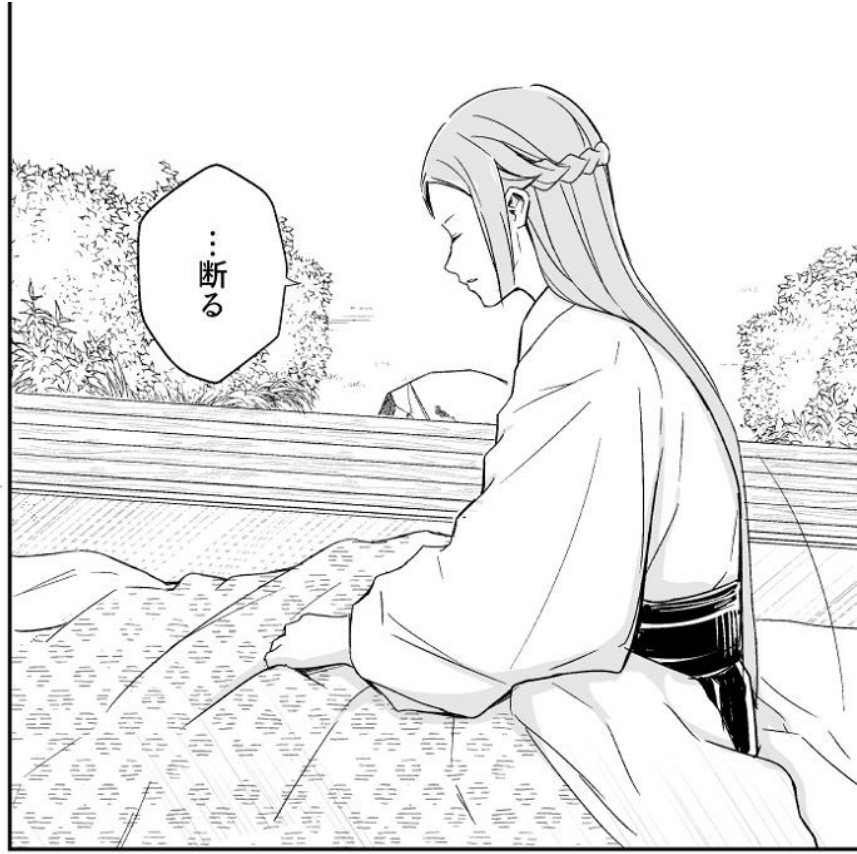






昔好きだった男を
忘れられないからか?

...

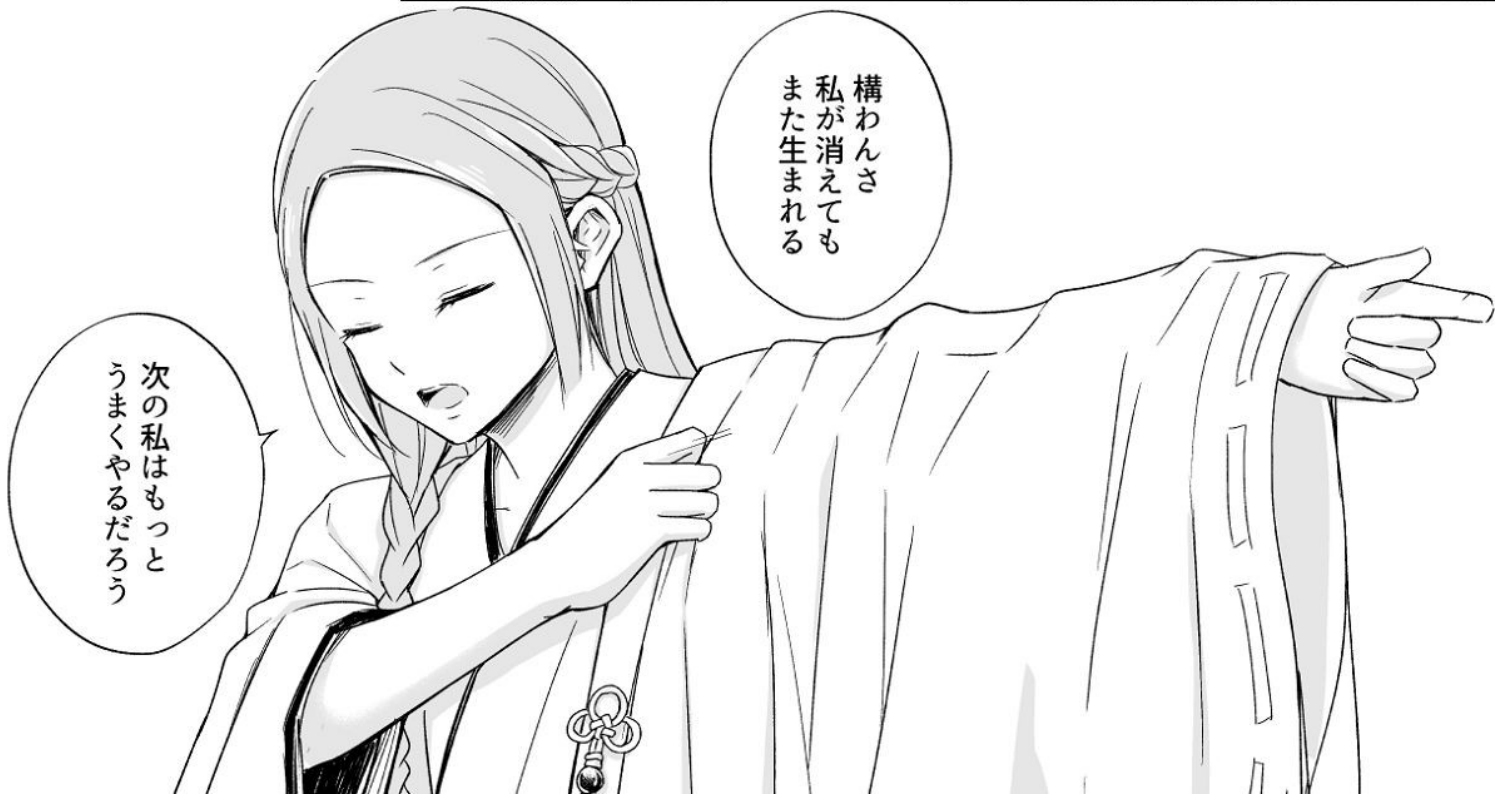


断る



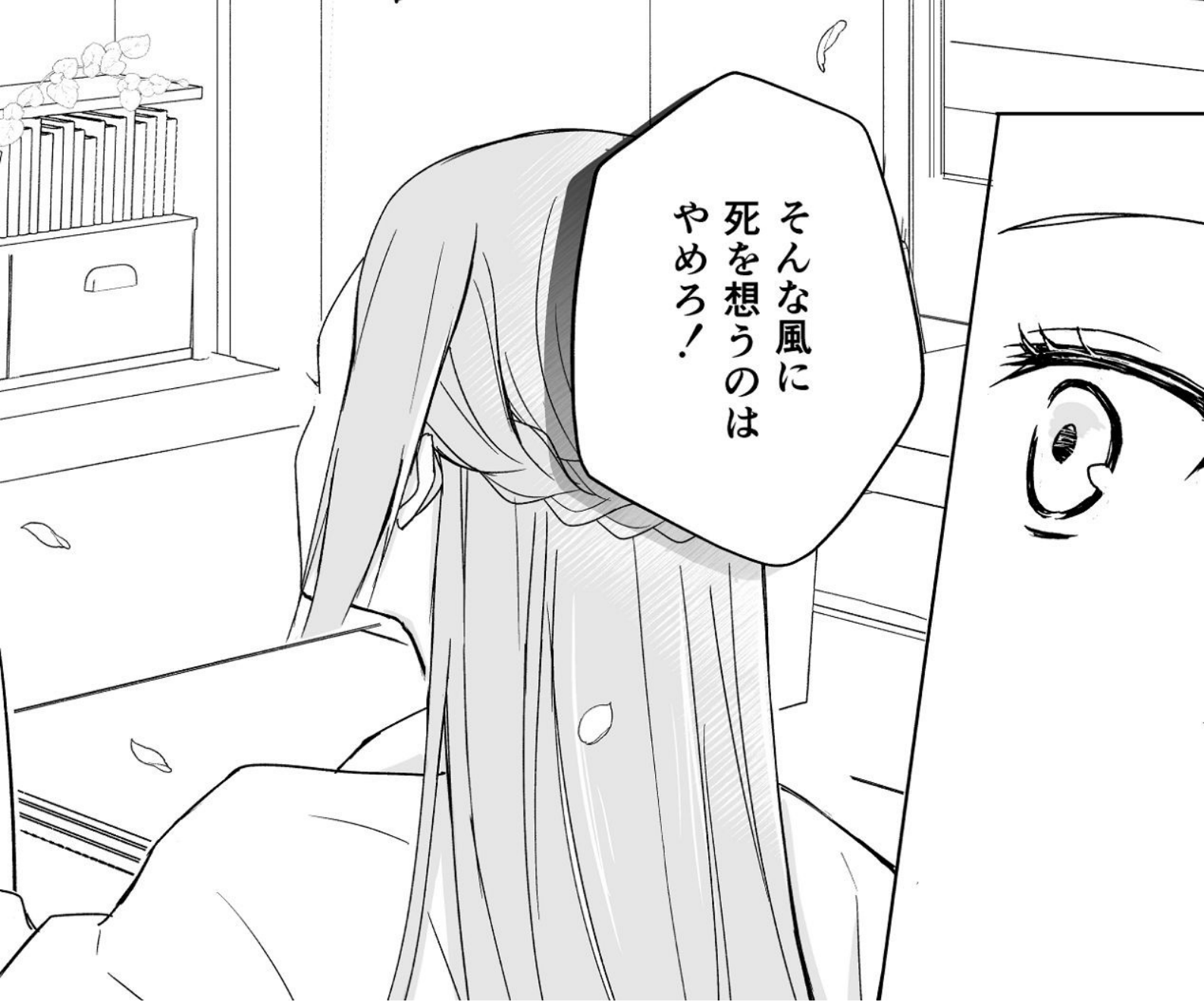
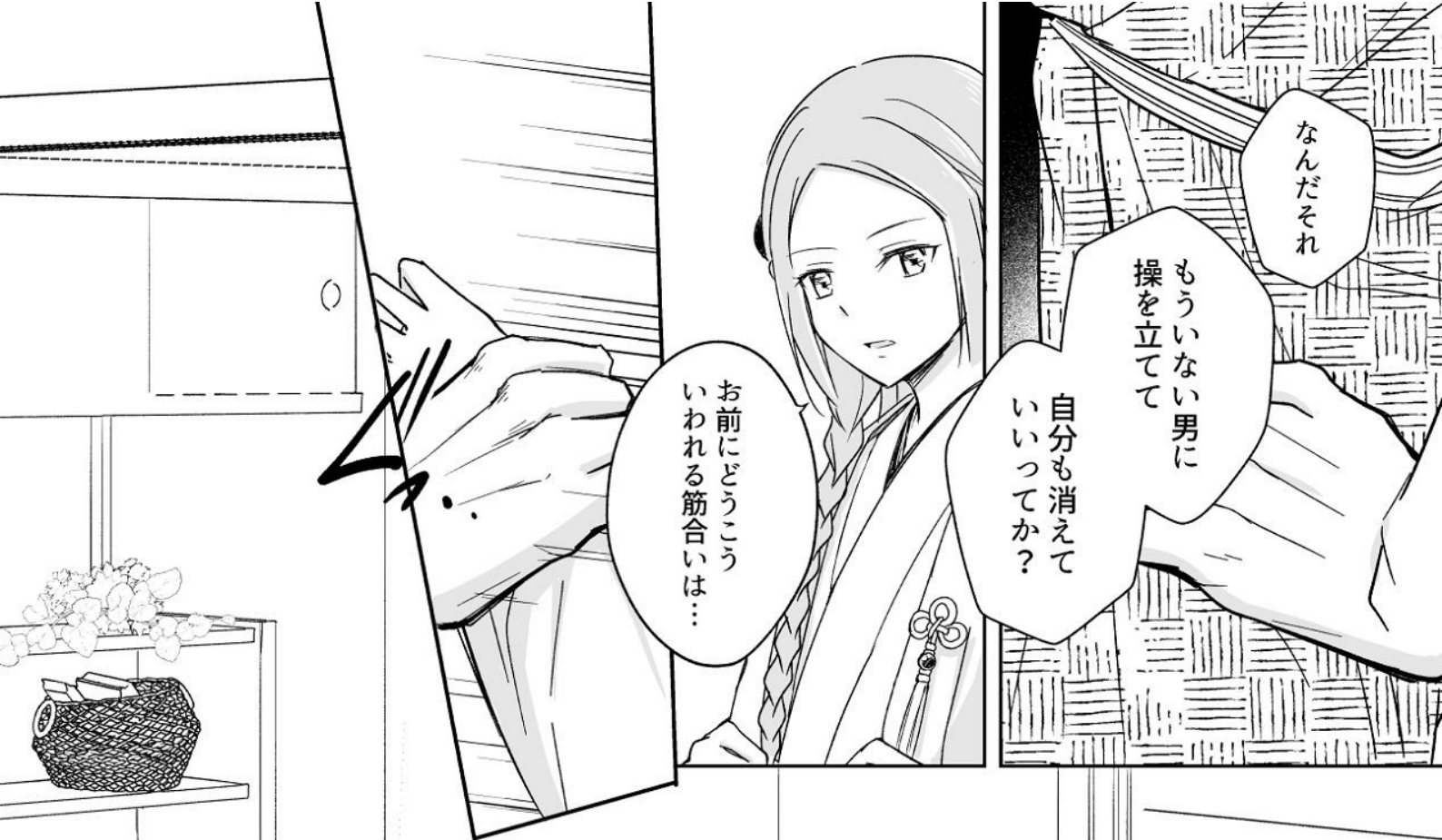
でも、穢れが
増えると、死んで
しまうのだろうか?

水神か
余計なことを



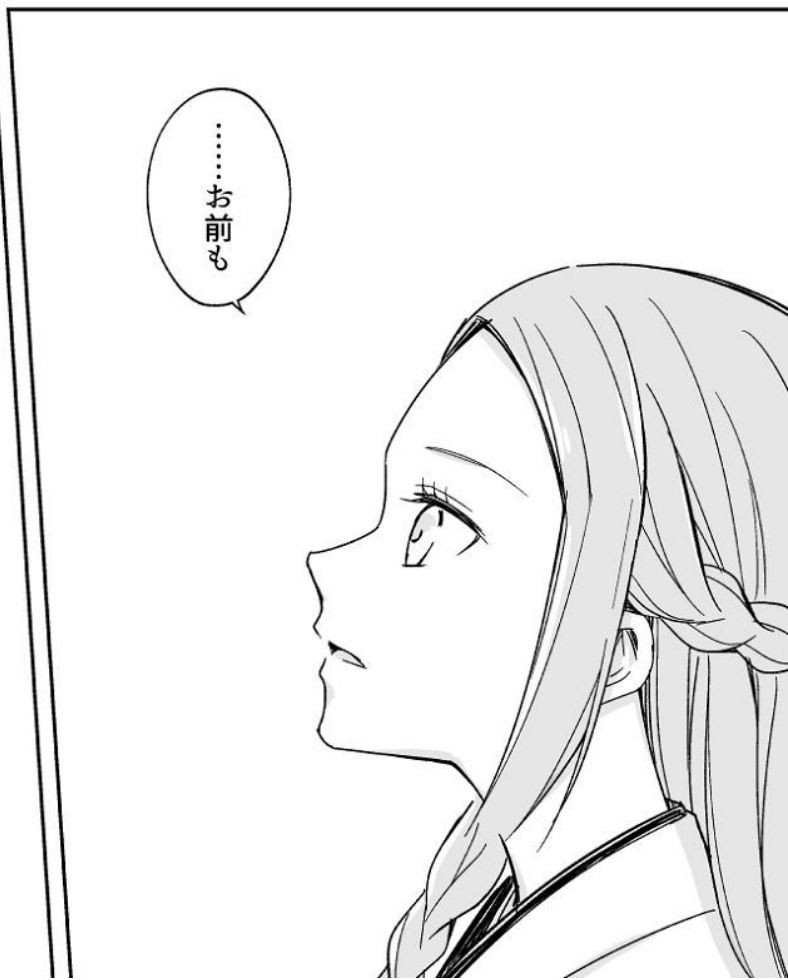
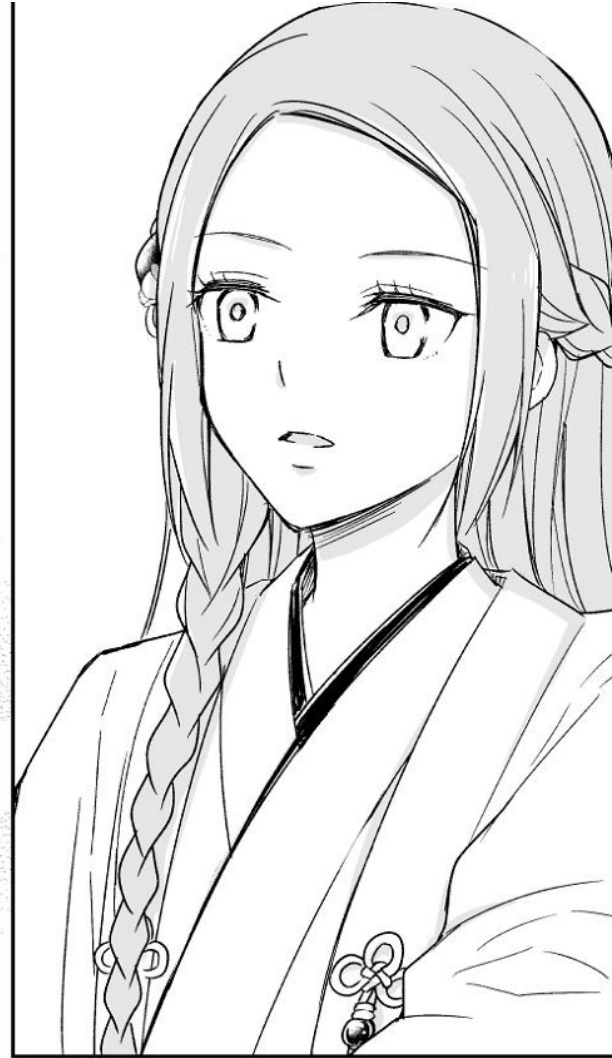
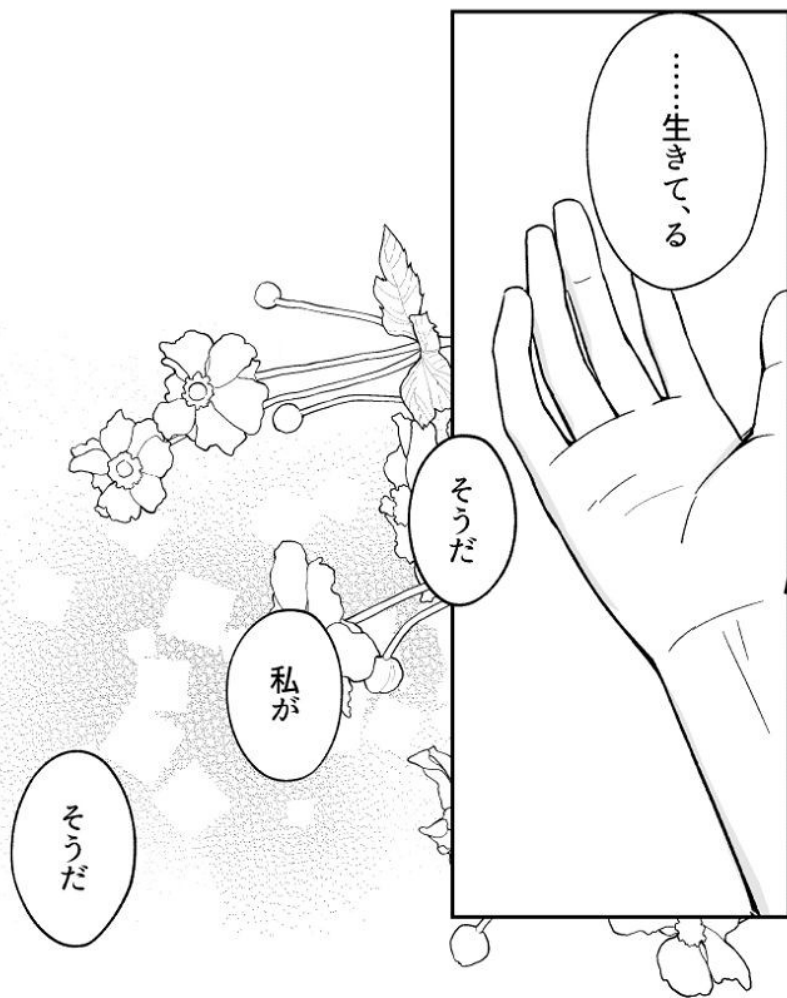
構わんさ
私が消えても
また生まれる

次の私をもっと
うまくやるだろう

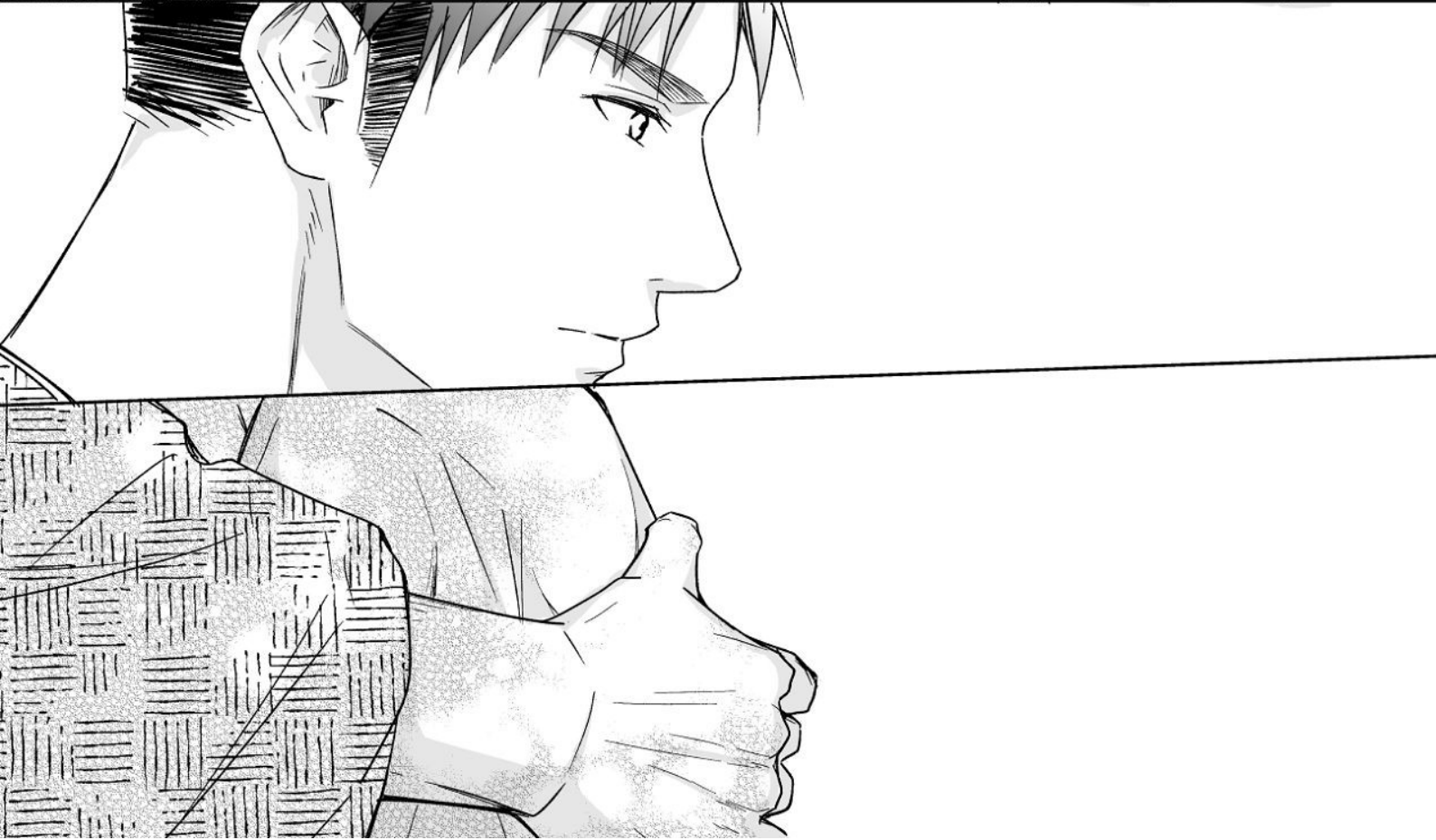


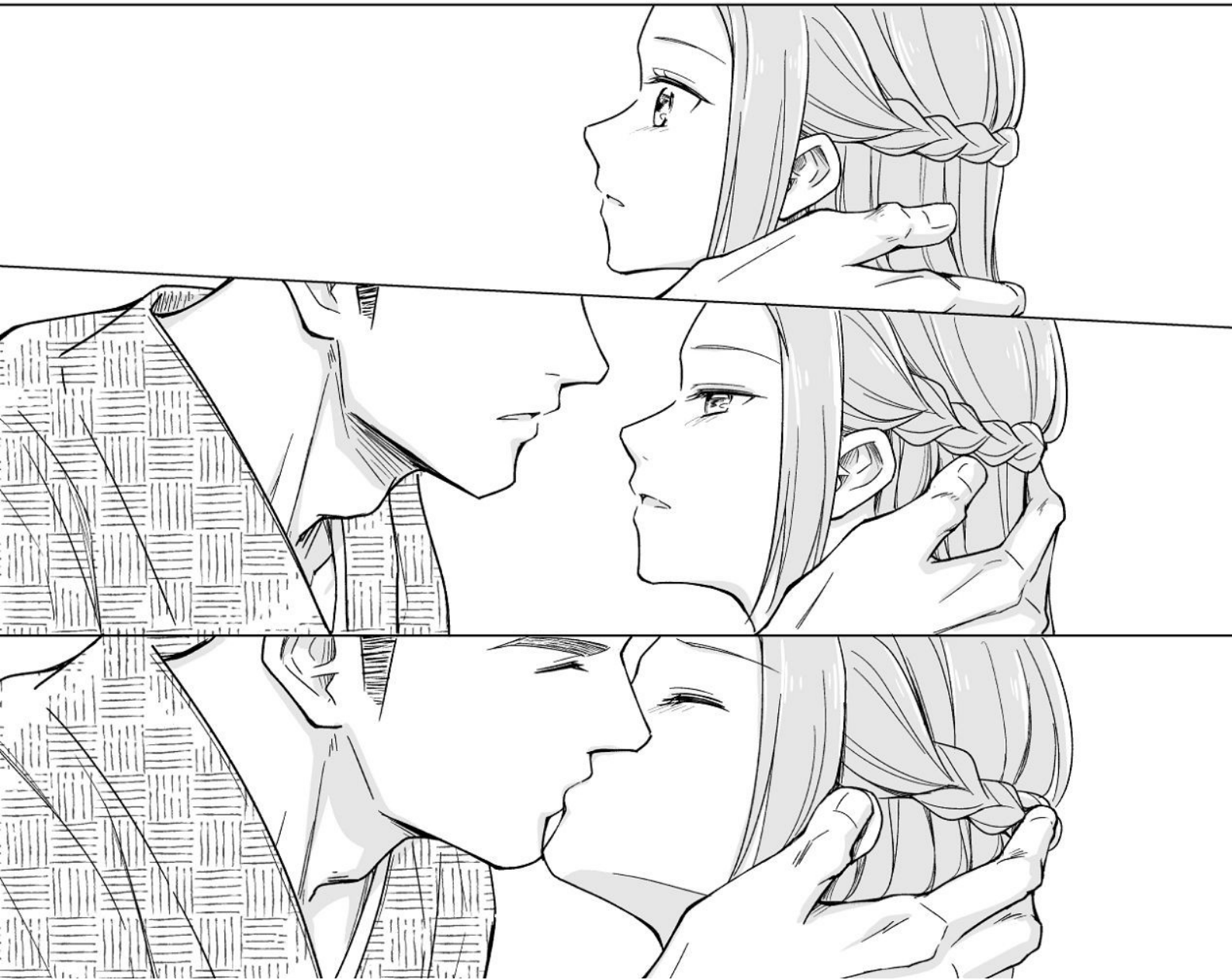
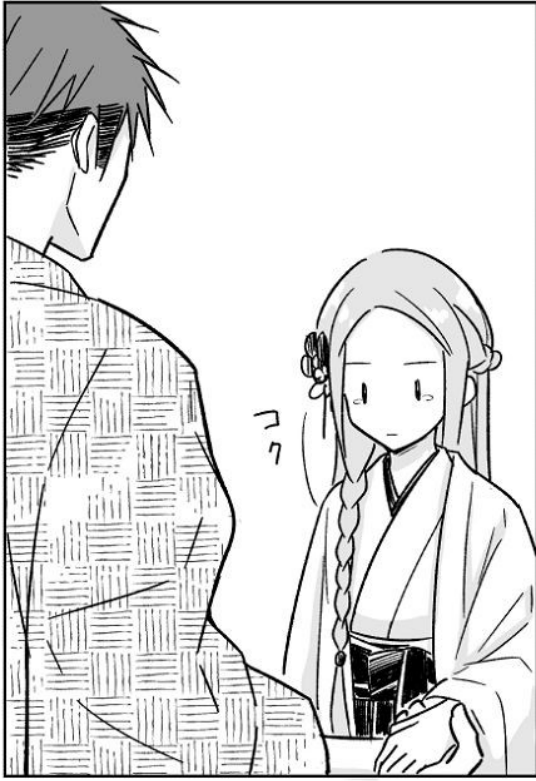


生きてるんだぞ！
俺も、お前も

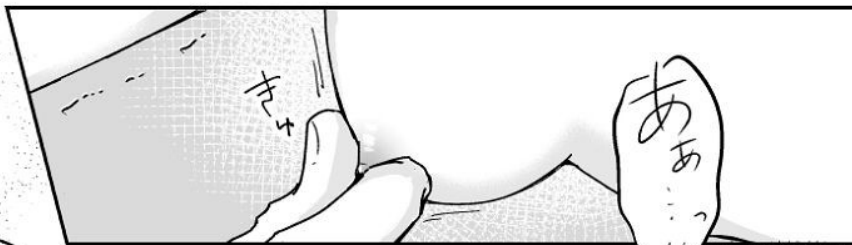
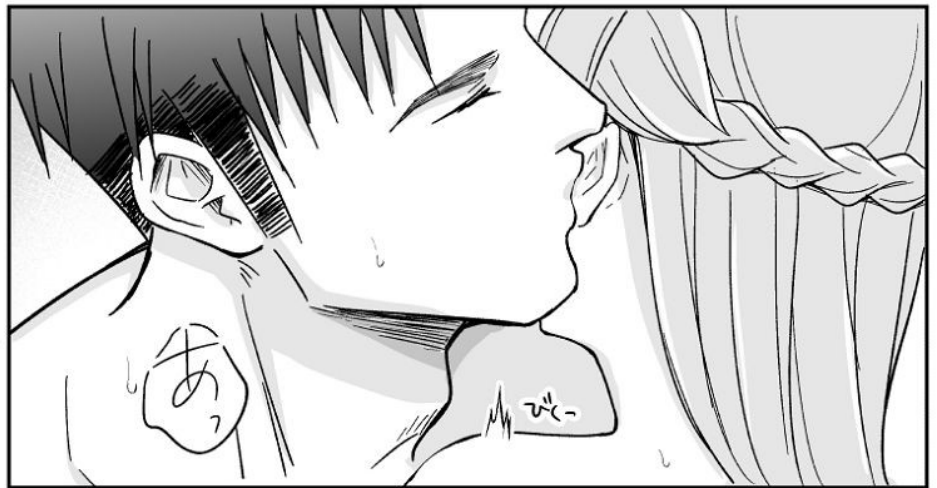


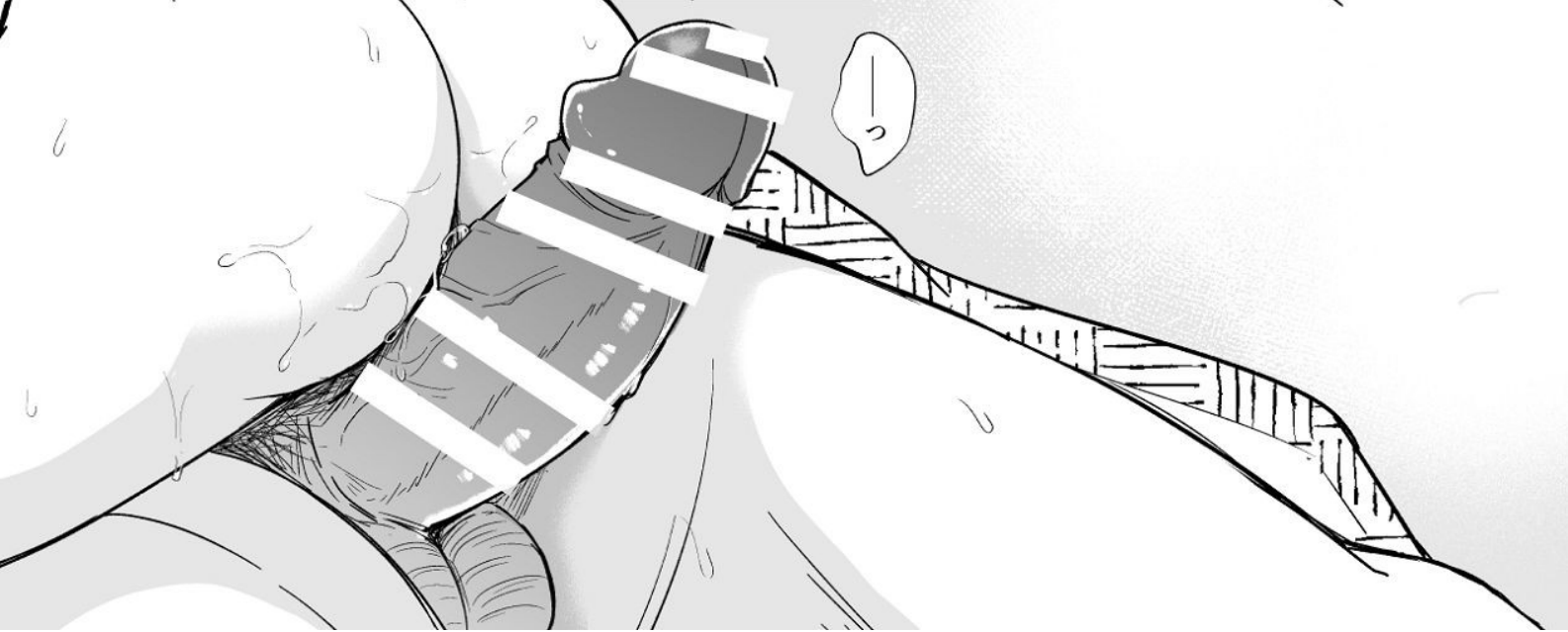
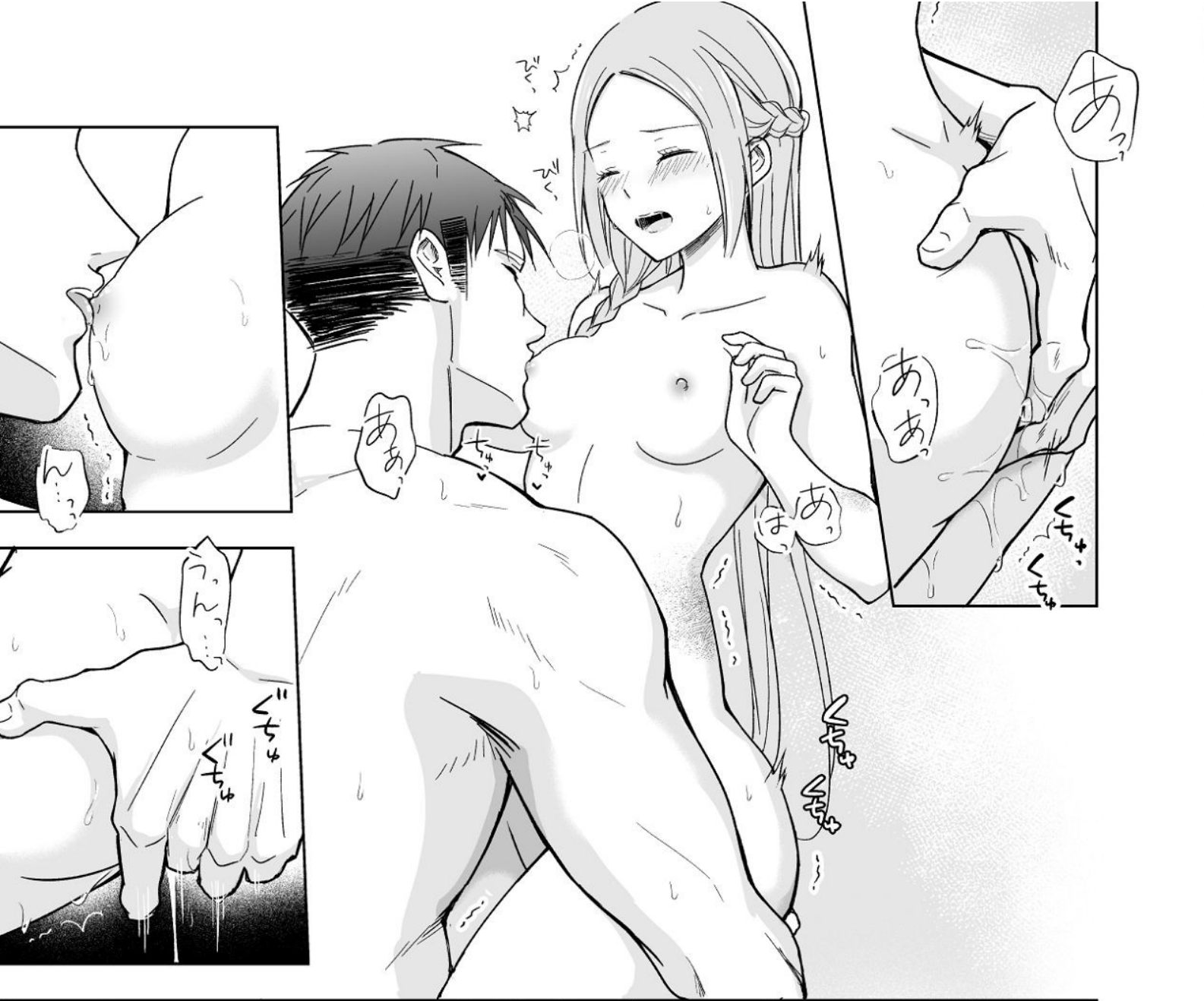
そうだ、
生きてるぞ

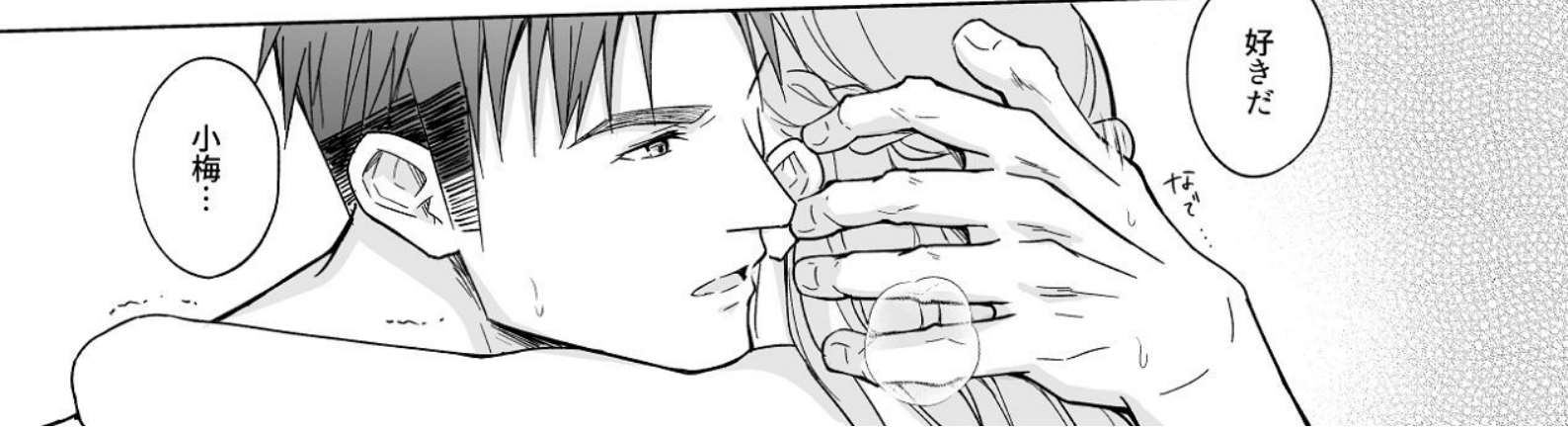
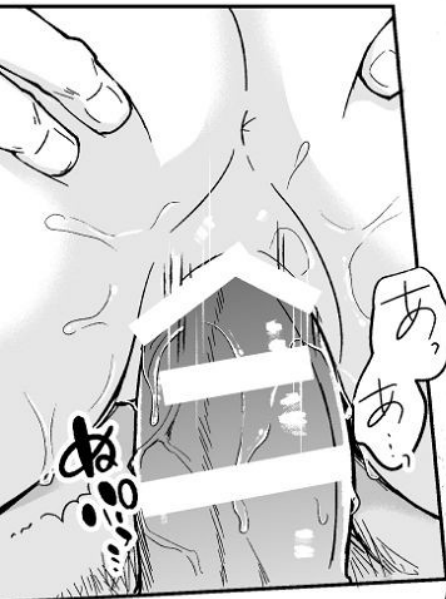












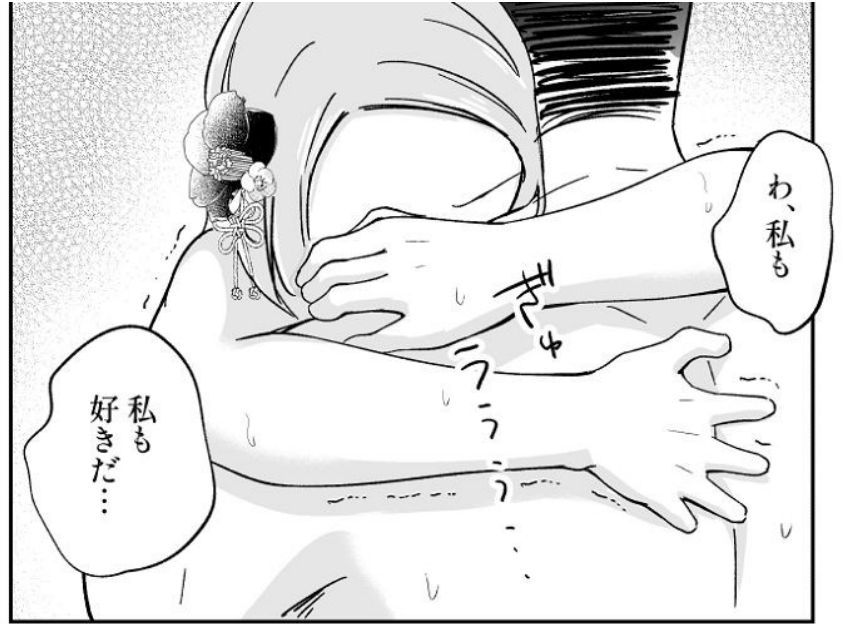
入れても
いいか？

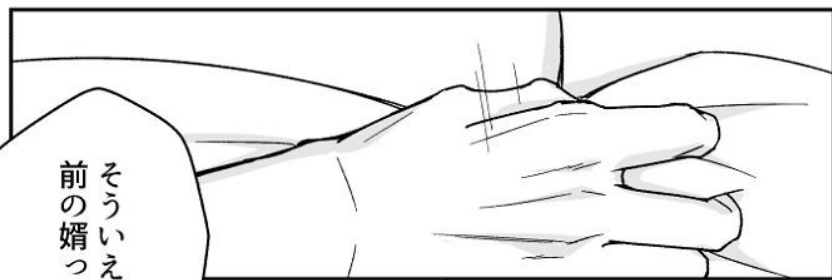
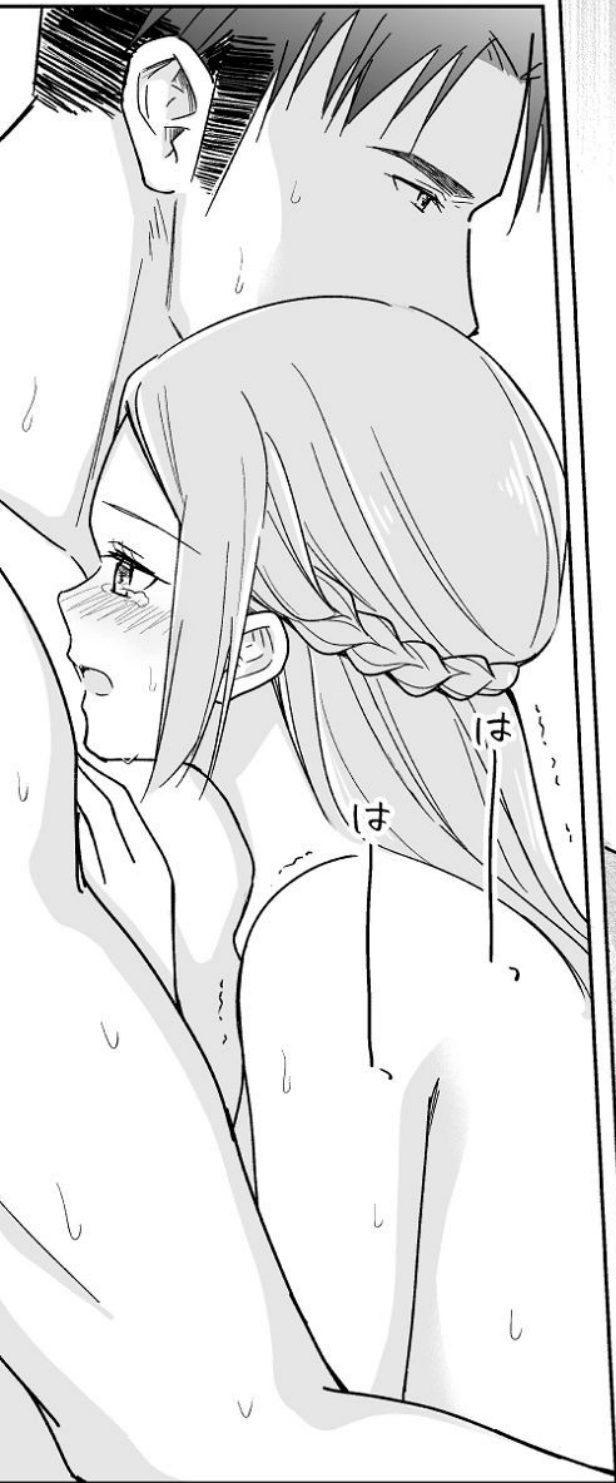
い、良いぞ...

あぁ...っ！

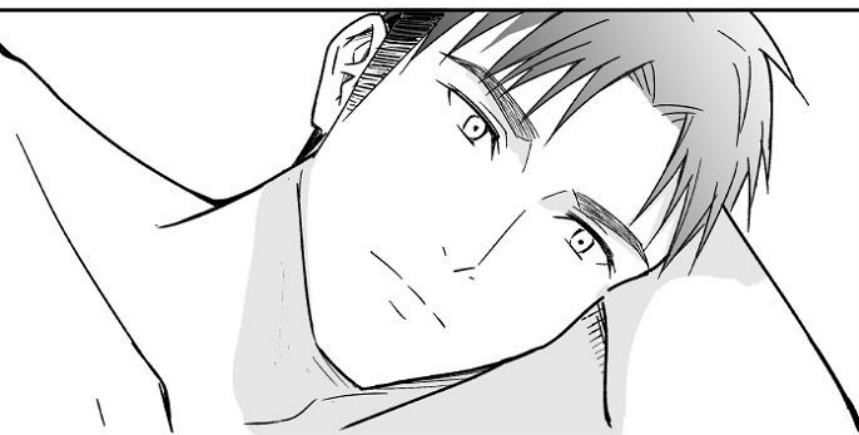
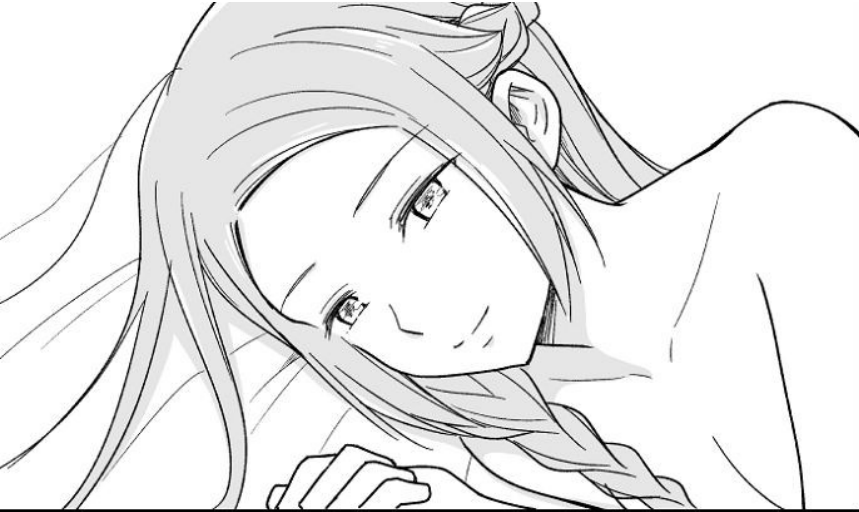
好きだ

小梅...





そういえば、
前の婿って
どんなやつ
だったんだ？

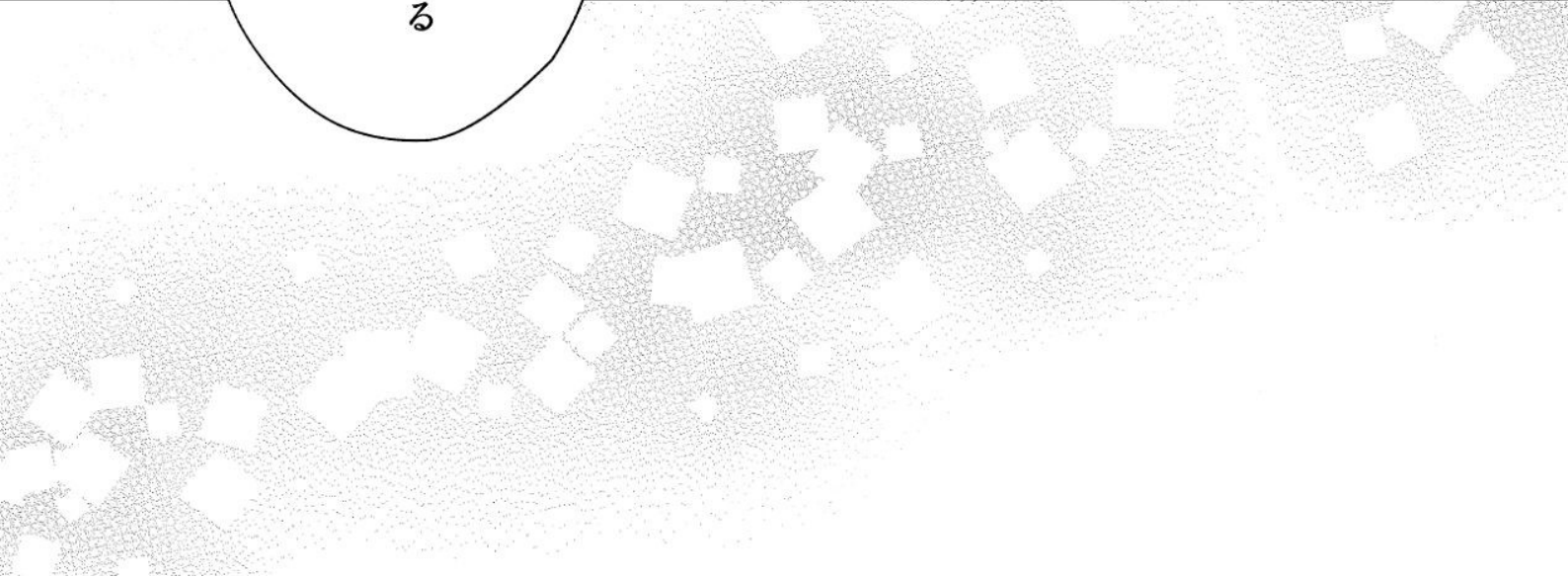




そいつも
また小梅に
会えたなら



すごく喜んでいる
だろうから



『花神の婿』（はながみのむこ）

- －発売日: 2026年01月10日
- －漫画: 柚子りゅう/Liry Rain
- －表紙デザイン: カジデザイン
- －連絡先: yuzu27r☆gmail.com

◆ DLsite

https://www.dlsite.com/girls/circle/profile/=/maker_id/RG53636.html

◆ Ci-en

<https://ci-en.dlsite.com/creator/5921>

◆ X

https://x.com/liry_rain

©2026 Liry Rain / Yuzu Riyu

無断転載・アップロード等を禁じます。

この作品はフィクションです。実在の人物、団体とは関係ございません。

This is a work of fiction. Names, characters, and incidents are fictitious.

Translations (EN/CN and more) are being released gradually on DLsite.



え



ええええええ

俺は小梅の
代わりに
死ぬ覚悟で…

え、でも
前の婿は？



あの時代は
死や不安、恐怖が
渦巻き、回復が
追いつかなかった

現代は自然が
失われる部分は
あるが、人の生活は
安定している



だから十分に
回復できるぞ

じゃあ、なんで
小梅はあんなに
泣いて…

神は、人に
甘いものなのだ



あとがき

こんにちは。柚りゆう/Liry Rainです。
ここまで読んでくださってありがとうございます！

今作から自作シナリオです。
「拒否できる力がある」というのがひとつ描きたかったものですが、
描いてるうちに、物語は思ったより大きなところへ向かっていきました。
いつもと違う読書体験になっていたら幸いです。

今作は『虹祭祀譚』シリーズ 1 作目、テーマカラーは『赤』になります。
次回作は今作でも登場した水神様のお話です。
雰囲気を変えて濡れ場濃いめの予定です。

作品チャートも封入しておりますので、もし今作で少しでも刺さるものがありましたら、気になる作品だけでも今後追いかけていただけたらとても嬉しいです。

最後に、いつも読んでくださっている皆様、本当にありがとうございます。
もしよろしければ、感想などを残していただけましたら、
次回作の大きな励みになります。

皆様の心に響くなにかがありますように。

Thank you for reading!
I hope you enjoyed the story.

Overprotective love—fluffy, tender, and passionate.





それでも、世界は人間を拒まない